医療機関名	愛媛大学医学部附属病院

施設基本情報

所在地	東温市志津川
病床数	628床
がん診療連携拠点病院指定日	平成19年1月31日
データ収集期間	2016.01.01～2016.12.31（2016年診断症例）
平均在院日数	14.9日
入院患者のべ数	196,428人
外来患者のべ数	303,083人
院内がん登録件数	2,242件
院内がん登録件数　上位3部位（症例区分80を除く）	肺：189件　子宮頚部：186件　胃：184件
実務者のうち「院内がん登録実務研修」修了者	初級者1名、中級者2名（2017年12月現在）
診療科	内科、血液内科、感染症内科、消化器内科、膠原病・リウマチ内科、循環器内科 、呼吸器内科、腎臓内科、高血圧内科、内分泌内科、代謝内科、アレルギー内科、糖尿病内科、老年内科、神経内科、薬物療法内科、総合診療科、精神科、小児科、消化器腫瘍外科、食道・胃・大腸外科、内視鏡外科、小児外科、肝胆膵・移植外科、乳腺・内分泌外科、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頚部外科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科、リハビリテーション科、臨床検査科 【全45科】（2016年3月現在）

担当医療圏：　**松山、八幡浜・大洲**

担当医療圏における患者住所の割合：

55.0%

県内担当医療圏外の割合：

43.6%

県外患者住所の割合：

1.4%

愛媛大学医学部附属病院（628 床）は、愛媛県の中心に位置する東温市に立地しています。担当する医療圏（松山医療圏と八幡浜・大洲医療圏）は、人口の多い松山市を始め、高齢化率の高い市町村が含まれます。

近年、愛媛県人口は緩やか減少傾向であり、県都松山市も同じく人口減少傾向です。しかし、拠点病院 7 病院のがん登録数は増加しており、高齢化に伴い有癌患者数は増加していると推測されます。

今回から集計を行っている愛媛県がん診療連携推進病院 8 病院については、地域の高齢者の患者が多く受診していることがデータから示されました。高齢者のがん患者が今後も増えていくことが予想されます。

2016 年集計から、全国がん登録の開始に伴い、集計項目、集計方法などの変更が行われました。そのため、単純に前年比較できない部分もありますが傾向を確認していきます。

当院の登録状況は、全体では増加しており、昨年同様女性の登録数が増加傾向です。個別臓器では、「胃」、「肺」、「腎」、「子宮」、「乳腺」の増加が見られます。

各臓器別患者住所でも、松山、八幡浜・大洲医療圏が各臓器の 5〜7 割と県内他地域から受診が認められます。

本年から見られるデータに、他院で治療を開始した症例で引き続き当院で治療を継続した症例が約 80 症例あったことは、地域の医療機関と共同で治療を行っている現状が伺えました。

がん登録データから見る当院の実績からは、地域での当院の使命が果たされていることが確認できました。

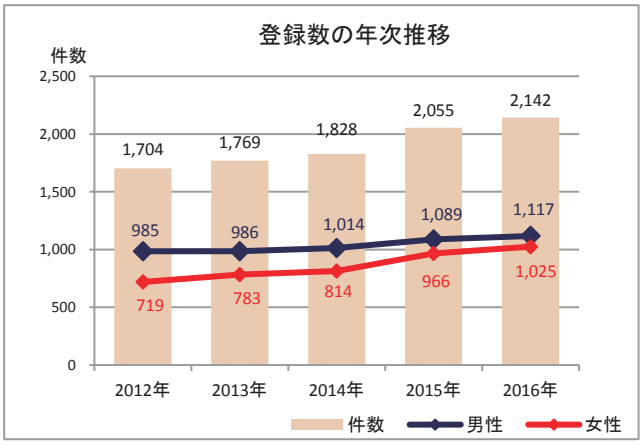
愛媛大学医学部医学科臨床腫瘍学講座　教授
愛媛大学医学部附属病院　腫瘍センター長
薬師神　芳洋

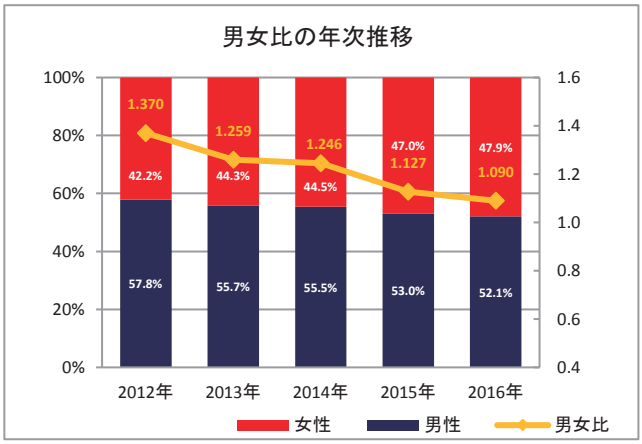
1. 年次推移と部位別登録数

1-1. 登録数の年次推移

診断年	2012年		2013年		2014年		2015年		2016年	
【症例区分8,80を含む】	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
全体	1,748		1,811		1,926		2,197		2,242	
男性	1,013	(58.0%)	1,011	(55.8%)	1,072	(55.7%)	1,161	(52.8%)	1,178	(52.5%)
女性	735	(42.0%)	800	(44.2%)	854	(44.3%)	1,036	(47.2%)	1,064	(47.5%)
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
全体	1,704		1,769		1,828		2,055		2,142	
男性	985	(57.8%)	986	(55.7%)	1,014	(55.5%)	1,089	(53.0%)	1,117	(52.1%)
女性	719	(42.2%)	783	(44.3%)	814	(44.5%)	966	(47.0%)	1,025	(47.9%)
男女比	1.370		1.259		1.246		1.127		1.090	

*男女比は女性を1としたときの男性の比率



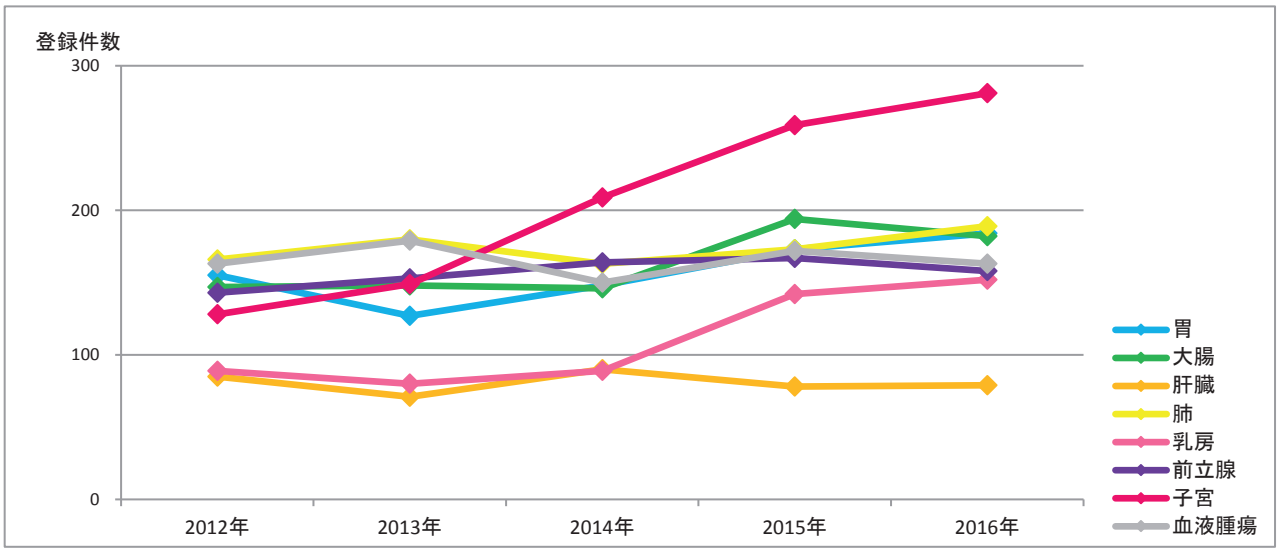


1-2. 部位別

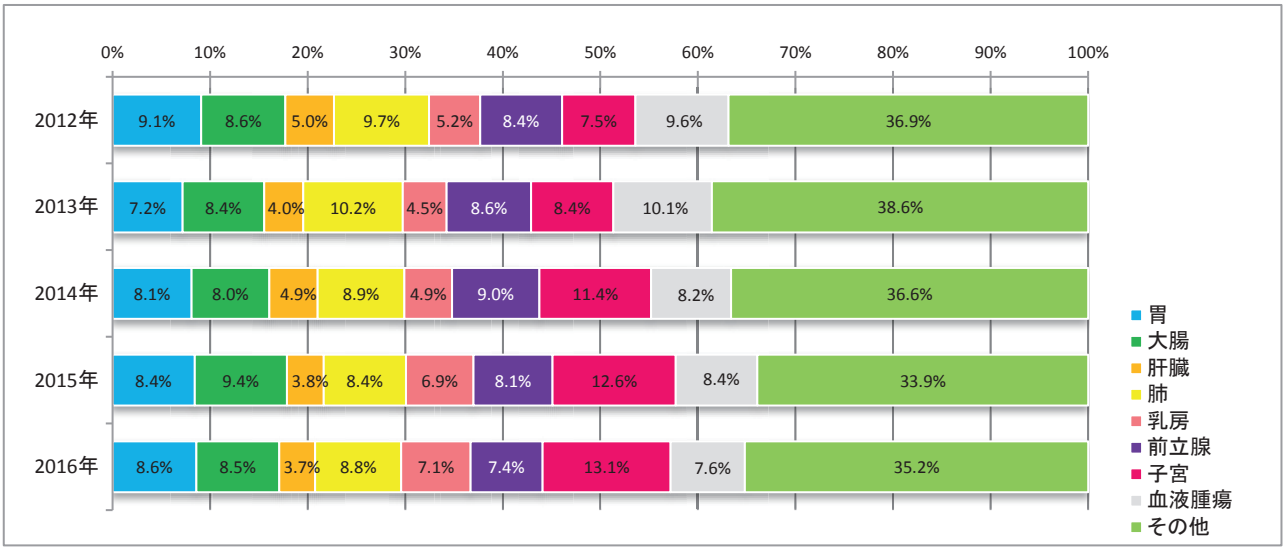
診断年	2012年		2013年		2014年		2015年		2016年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
口腔・咽頭	84	(4.9%)	87	(4.9%)	96	(5.3%)	92	(4.5%)	90	(4.2%)
食道	31	(1.8%)	28	(1.6%)	25	(1.4%)	30	(1.5%)	37	(1.7%)
胃	155	(9.1%)	127	(7.2%)	148	(8.1%)	173	(8.4%)	184	(8.6%)
結腸	97	(5.7%)	100	(5.7%)	99	(5.4%)	124	(6.0%)	114	(5.3%)
直腸	50	(2.9%)	48	(2.7%)	47	(2.6%)	70	(3.4%)	68	(3.2%)
肝臓	85	(5.0%)	71	(4.0%)	90	(4.9%)	78	(3.8%)	79	(3.7%)
胆嚢・胆管	24	(1.4%)	28	(1.6%)	13	(0.7%)	21	(1.0%)	20	(0.9%)
膵臓	33	(1.9%)	31	(1.8%)	32	(1.8%)	37	(1.8%)	31	(1.4%)
喉頭	21	(1.2%)	19	(1.1%)	15	(0.8%)	14	(0.7%)	17	(0.8%)
肺	166	(9.7%)	180	(10.2%)	163	(8.9%)	173	(8.4%)	189	(8.8%)
骨・軟部	28	(1.6%)	13	(0.7%)	19	(1.0%)	21	(1.0%)	25	(1.2%)
皮膚	49	(2.9%)	81	(4.6%)	56	(3.1%)	62	(3.0%)	57	(2.7%)
乳房	89	(5.2%)	80	(4.5%)	89	(4.9%)	142	(6.9%)	152	(7.1%)
子宮頸部	79	(4.6%)	102	(5.8%)	142	(7.8%)	172	(8.4%)	186	(8.7%)
子宮体部	48	(2.8%)	46	(2.6%)	67	(3.7%)	87	(4.2%)	93	(4.3%)
子宮	1～3	--	1～3	--	0	--	0	--	1～3	--
卵巣	28	(1.6%)	20	(1.1%)	29	(1.6%)	35	(1.7%)	49	(2.3%)
前立腺	143	(8.4%)	153	(8.6%)	164	(9.0%)	167	(8.1%)	158	(7.4%)
膀胱	59	(3.5%)	54	(3.1%)	59	(3.2%)	75	(3.6%)	81	(3.8%)
腎・尿路	53	(3.1%)	77	(4.4%)	73	(4.0%)	56	(2.7%)	85	(4.0%)
脳・神経	131	(7.7%)	137	(7.7%)	126	(6.9%)	149	(7.3%)	130	(6.1%)
甲状腺	45	(2.6%)	63	(3.6%)	73	(4.0%)	52	(2.5%)	68	(3.2%)
悪性リンパ腫	76	(4.5%)	85	(4.8%)	86	(4.7%)	95	(4.6%)	99	(4.6%)
多発性骨髄腫	14	(0.8%)	16	(0.9%)	11	(0.6%)	12	(0.6%)	7～9	--
白血病	44	(2.6%)	37	(2.1%)	35	(1.9%)	37	(1.8%)	29	(1.4%)
他の血液	29	(1.7%)	41	(2.3%)	18	(1.0%)	28	(1.4%)	26	(1.2%)
その他	42	(2.5%)	44	(2.5%)	53	(2.9%)	53	(2.6%)	64	(3.0%)
合計	1,704		1,769		1,828		2,055		2,142	

*説明ポイント① 女性の登録数が増加中である

1-3. 部位別登録件数の推移

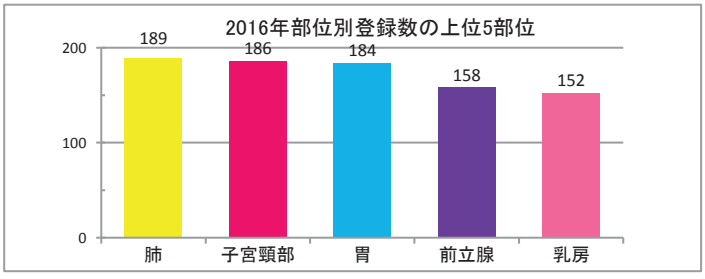


1-4. 部位別の割合



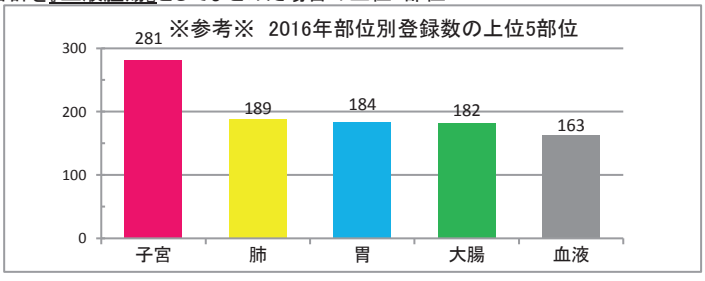
1-5. 部位別登録数の上位5部位

	2015年		2016年	
順位	部位名	件数	部位名	件数
1	胃	173	肺	189
2	肺	173	子宮頸部	186
3	子宮頸部	172	胃	184
4	前立腺	167	前立腺	158
5	脳・神経	149	乳房	152



※参考※ 結腸・直腸の合計を『大腸』、子宮頸部・子宮体部・子宮NOSの合計を『子宮』、
悪性リンパ腫・多発性骨髄腫・白血病・他の血液腫瘍の合計を『血液腫瘍』としてまとめた場合の上位5部位

	2015年		2016年	
順位	部位名	件数	部位名	件数
1	子宮	259	子宮	281
2	大腸	194	肺	189
3	胃	173	胃	184
4	肺	173	大腸	182
5	血液	172	血液	163



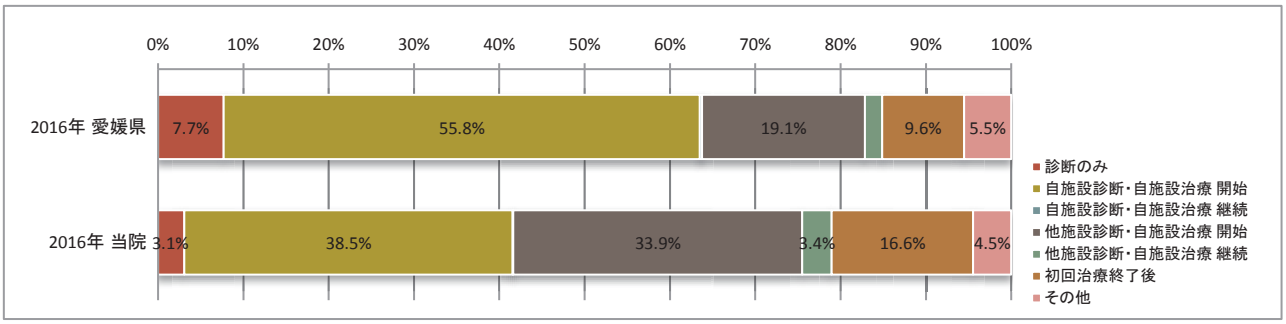
2. 症例区分

2-1. 症例区分

標準登録様式 2006年度改定版	2014年		2015年	
	件数	(%)	件数	(%)
診断のみ	69	(3.6%)	69	(3.1%)
自施設診断・自施設治療	810	(42.1%)	931	(42.4%)
他施設診断・自施設治療	581	(30.2%)	658	(29.9%)
治療開始後	364	(18.9%)	394	(17.9%)
剖検発見	4～6	--	1～3	--
その他	98	(5.1%)	142	(6.5%)

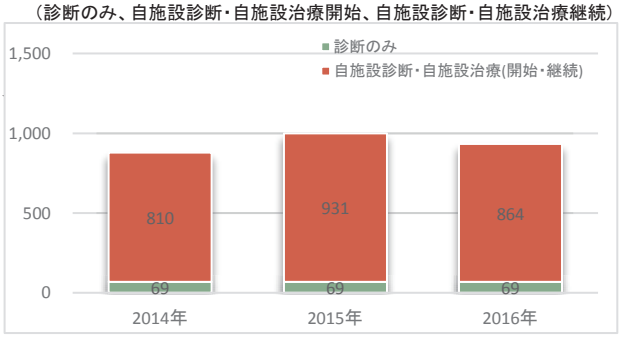
標準登録様式 2016年版	2016年	
	件数	(%)
診断のみ	69	(3.1%)
自施設診断・自施設治療 開始	863	(38.5%)
自施設診断・自施設治療 継続	1～3	--
他施設診断・自施設治療 開始	760	(33.9%)
他施設診断・自施設治療 継続	77	(3.4%)
初回治療終了後	372	(16.6%)
その他	100	(4.5%)

2-2. 症例区分　愛媛県全体との比較



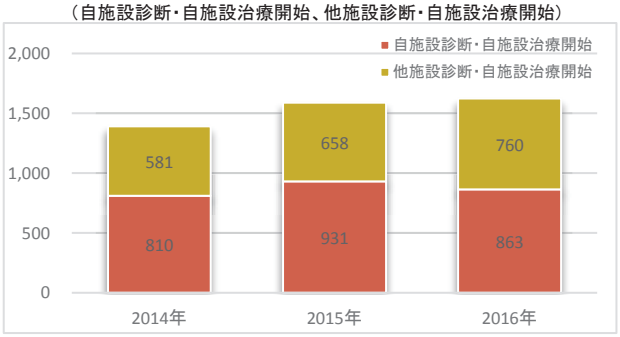
2-3. 自施設でがんと診断した症例の年次推移

（診断のみ、自施設診断・自施設治療開始、自施設診断・自施設治療継続）



2-4. 自施設初回治療開始症例の年次推移

（自施設診断・自施設治療開始、他施設診断・自施設治療開始）

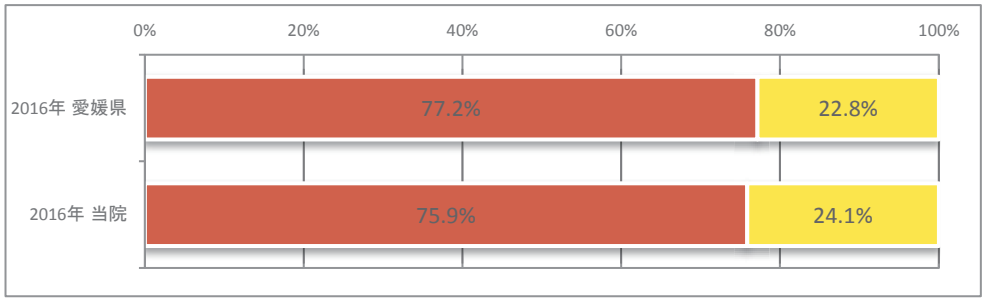


2-5. 2016年診断の症例区分の診断施設・治療施設マトリクス

治療施設＼診断施設	自施設診断 （当該腫瘍について"がん"と診断された最も確かと考えられる検査が自施設初診後に行われた症例）	他施設診断 （当該腫瘍について"がん"と診断された最も確かと考えられる検査が自施設初診前にすでに行われていた症例）
自施設で初回治療せず	＜診断のみ＞ 69	＜その他＞ 46
自施設で初回治療開始	＜自施設診断・自施設治療開始＞ 863	＜他施設診断・自施設治療開始＞ 760
初回治療継続	＜自施設診断・自施設治療継続＞ 1～3	＜他施設診断・自施設治療継続＞ 77
初回治療終了後	＜初回治療終了後＞ 1～3	＜初回治療終了後＞、＜その他＞ 403
その他	＜その他＞ 4～6	＜その他＞ 17

*説明ポイント②　他施設からの治療継続依頼が一定数ある

2-6. 2016年診断の自施設責任症例の割合の比較 （※症例区分80を含む）

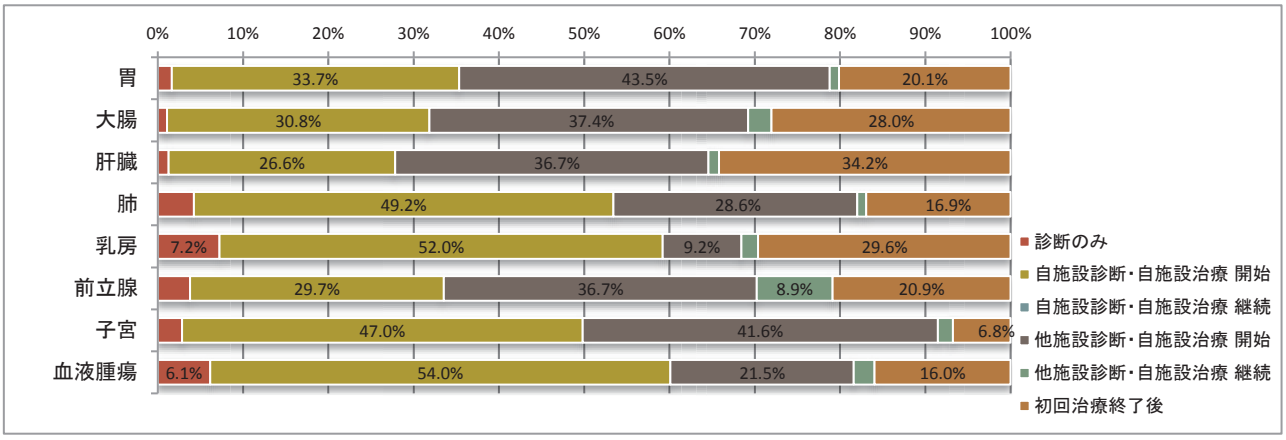


2-7. 症例区分 部位別

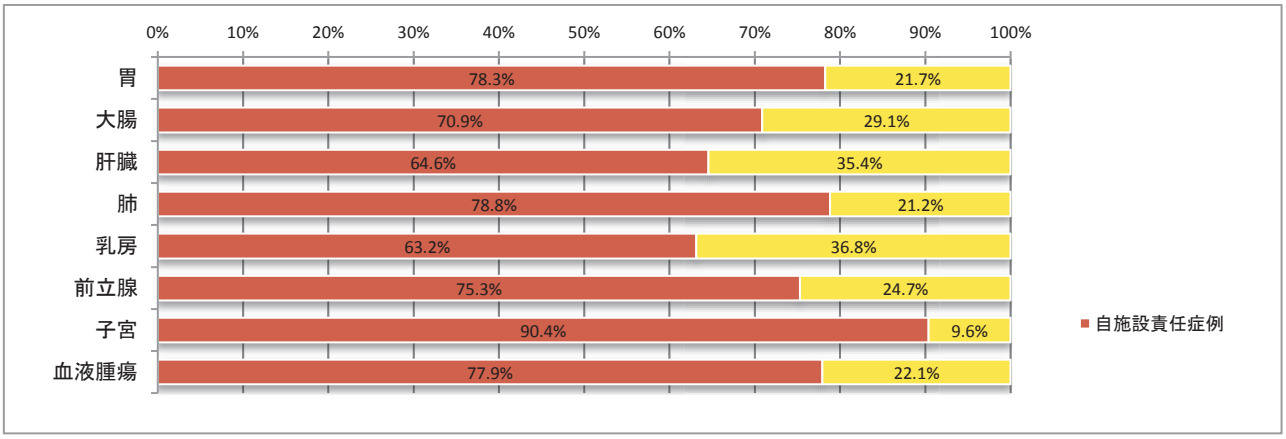
	胃		大腸		肝臓		肺		乳房	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
診断のみ	1～3	--	1～3	--	1～3	--	7～9	--	11	(7.2%)
自施設診断･自施設治療 開始	62	(33.7%)	56	(30.8%)	21	(26.6%)	93	(49.2%)	79	(52.0%)
自施設診断･自施設治療 継続	0	--	0	--	0	--	0	--	0	--
他施設診断･自施設治療 開始	80	(43.5%)	68	(37.4%)	29	(36.7%)	54	(28.6%)	14	(9.2%)
他施設診断･自施設治療 継続	1～3	--	4～6	--	1～3	--	1～3	--	1～3	--
初回治療終了後	37	(20.1%)	51	(28.0%)	27	(34.2%)	32	(16.9%)	45	(29.6%)

	前立腺		子宮		血液腫瘍	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
診断のみ	4～6	--	7～9	--	10	(6.1%)
自施設診断･自施設治療 開始	47	(29.7%)	132	(47.0%)	88	(54.0%)
自施設診断･自施設治療 継続	0	--	0	--	0	--
他施設診断･自施設治療 開始	58	(36.7%)	117	(41.6%)	35	(21.5%)
他施設診断･自施設治療 継続	14	(8.9%)	4～6	--	4～6	--
初回治療終了後	33	(20.9%)	19	(6.8%)	26	(16.0%)

2-8. 症例区分 部位別の割合



2-9. 症例区分 部位別の責任症例の割合



3. 診断時住所別

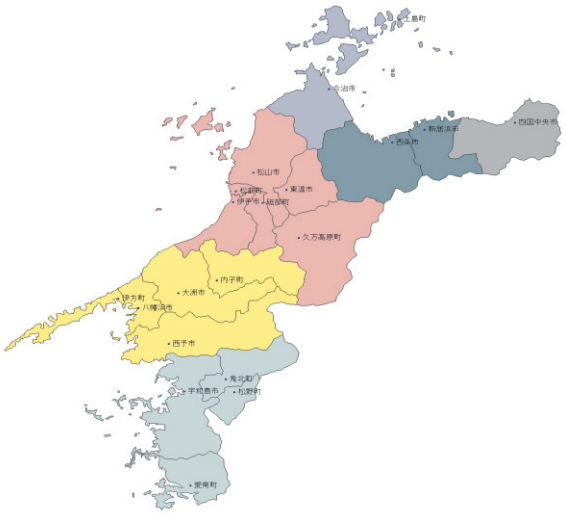
3-1. 診断時住所別

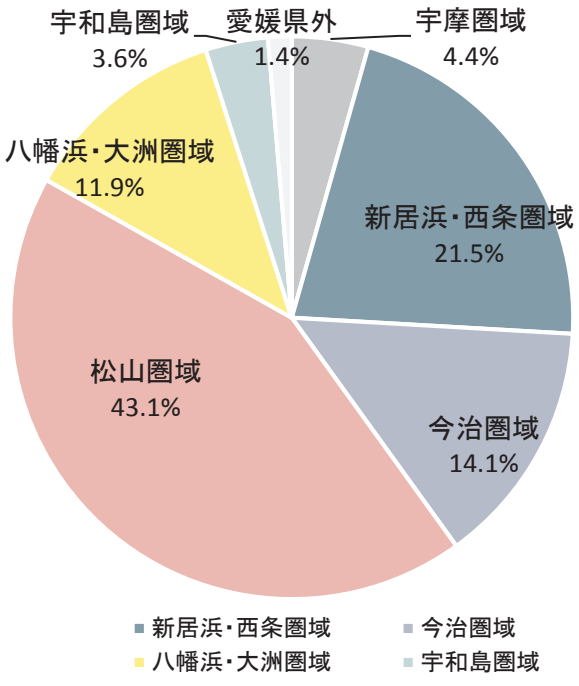
医療圏	登録数	登録割合	市郡・県外	町村	登録数
	件数	(%)			件数
宇摩圏域	94	(4.4%)	四国中央市		94
新居浜・西条圏域	461	(21.5%)	新居浜市		172
			西条市		289
今治圏域	303	(14.1%)	今治市		301
			越智郡	(上島町)	1～3
松山圏域	923	(43.1%)	松山市		620
			伊予市		48
			東温市		183
			上浮穴郡	(久万高原町)	15
			伊予郡	(松前町、砥部町)	57
八幡浜・大洲圏域	255	(11.9%)	八幡浜市		85
			大洲市		77
			西予市		38
			喜多郡	(内子町)	38
			西宇和郡	(伊方町)	17
宇和島圏域	77	(3.6%)	宇和島市		44
			北宇和郡	(松野町、鬼北町)	14
			南宇和郡	(愛南町)	19
愛媛県外	29	(1.4%)	高知県		14
			香川県		7～9
			徳島県		1～3
			その他		4～6
				合計	2,142

担当医療圏

担当医療圏の登録割合

55.0%



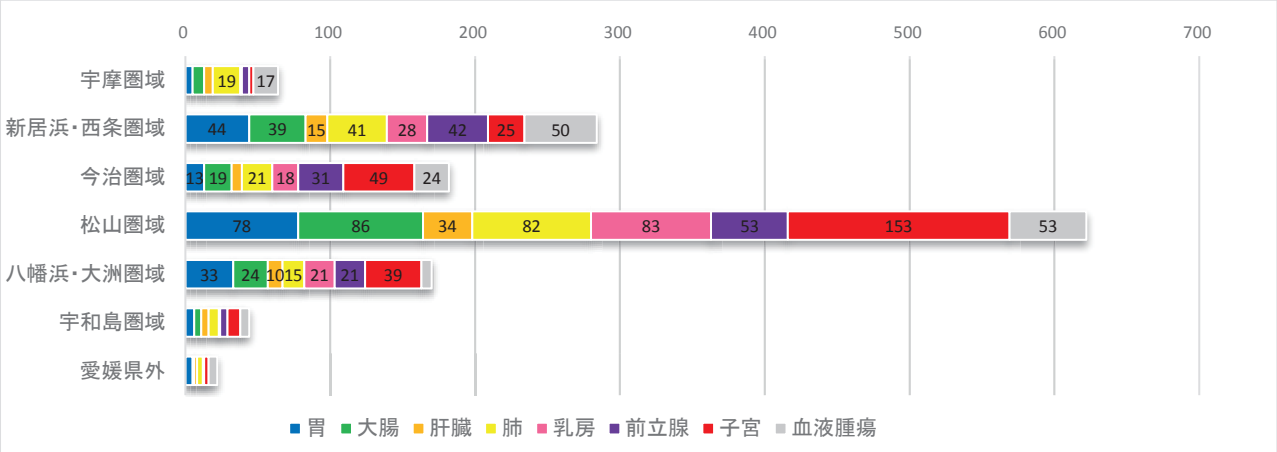


*説明ポイント③ 松山医療圏を中心に県内各地から受診している

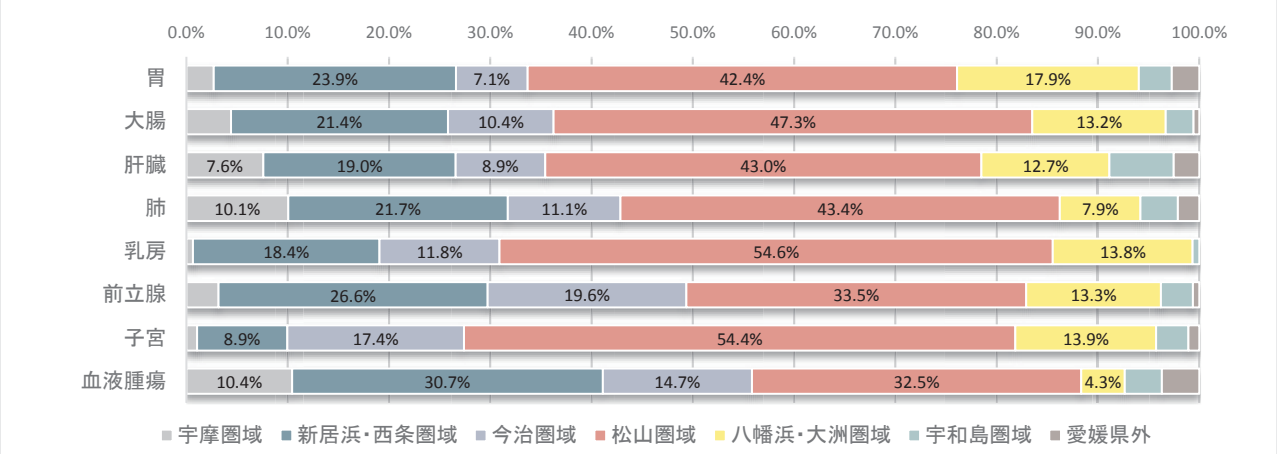
3-2. 診断時住所別部位別

医療圏	胃	大腸	肝臓	肺	乳房	前立腺	子宮	血液腫瘍	8部位合 計
	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	
宇摩圏域	4～6	7～9	4～6	19	1～3	4～6	1～3	17	64
新居浜・西条圏域	44	39	15	41	28	42	25	50	284
今治圏域	13	19	7～9	21	18	31	49	24	182
松山圏域	78	86	34	82	83	53	153	53	622
八幡浜・大洲圏域	33	24	10	15	21	21	39	7～9	170
宇和島圏域	4～6	4～6	4～6	7～9	1～3	4～6	7～9	4～6	44
愛媛県外	4～6	1～3	1～3	4～6	0	1～3	1～3	4～6	22
部位別 合 計	184	182	79	189	152	158	281	163	1,388
部位別の登録数に占める担当医療圏の登録割合（担当医療圏登録数/登録数）	60.3%	60.4%	55.7%	51.3%	68.4%	46.8%	68.3%	36.8%	57.1%

3-3. 医療圏域ごとの部位別登録数



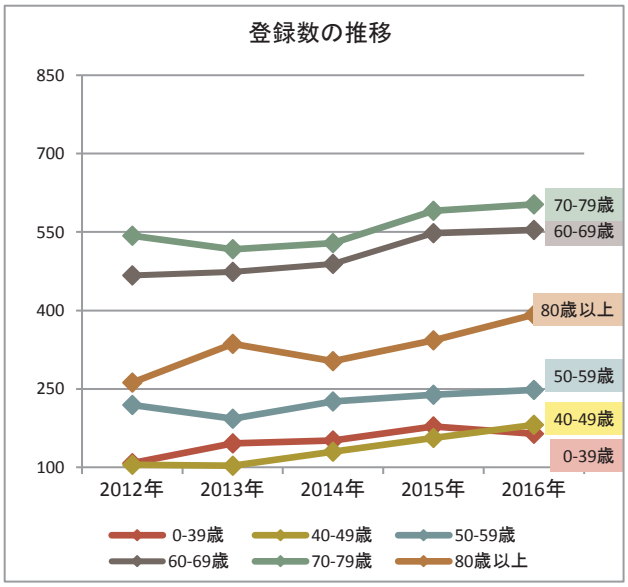
3-4. 部位ごとの医療圏域別登録割合

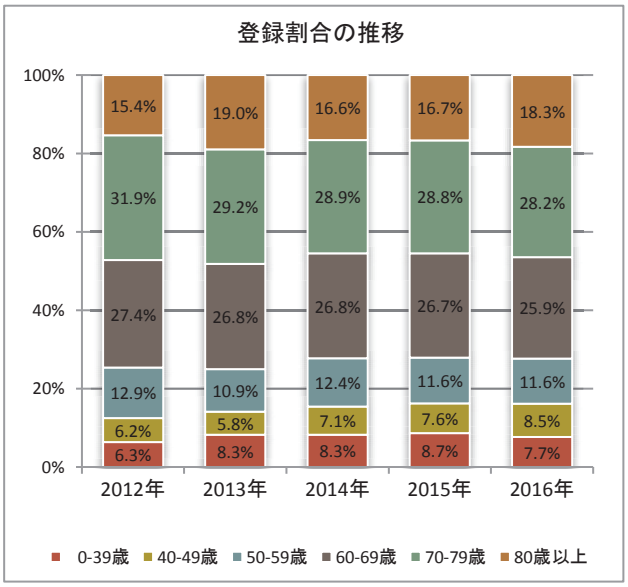


4. 年齢の割合

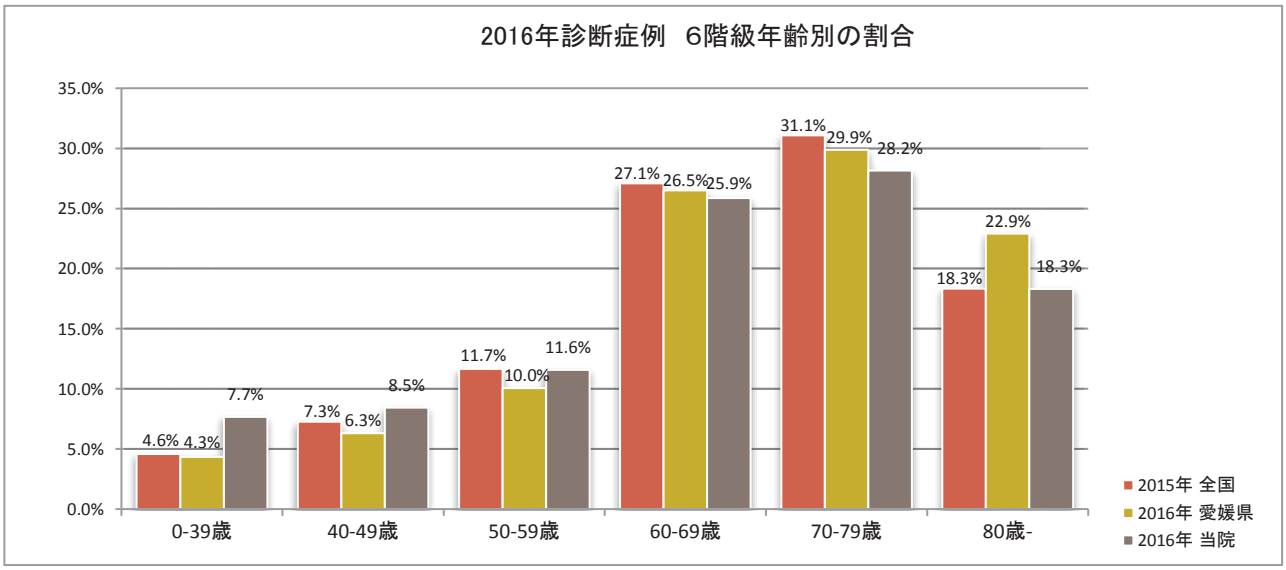
4-1. 年齢6階級別登録数の年次推移

診断年	2012年		2013年		2014年		2015年		2016年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39歳	108	(6.3%)	146	(8.3%)	151	(8.3%)	178	(8.7%)	164	(7.7%)
40-49歳	105	(6.2%)	103	(5.8%)	130	(7.1%)	156	(7.6%)	181	(8.5%)
50-59歳	219	(12.9%)	193	(10.9%)	226	(12.4%)	239	(11.6%)	248	(11.6%)
60-69歳	467	(27.4%)	474	(26.8%)	489	(26.8%)	548	(26.7%)	554	(25.9%)
70-79歳	543	(31.9%)	517	(29.2%)	529	(28.9%)	591	(28.8%)	603	(28.2%)
80歳-	262	(15.4%)	336	(19.0%)	303	(16.6%)	343	(16.7%)	392	(18.3%)





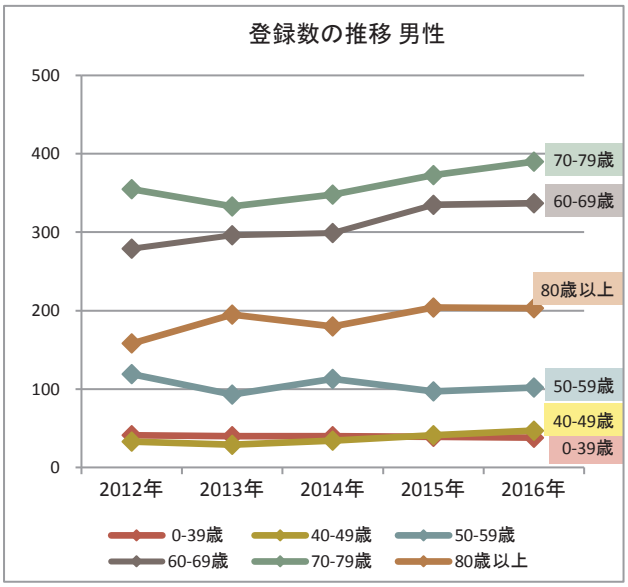
4-2. 年齢6階級別登録数 愛媛県全体・全国値との比較

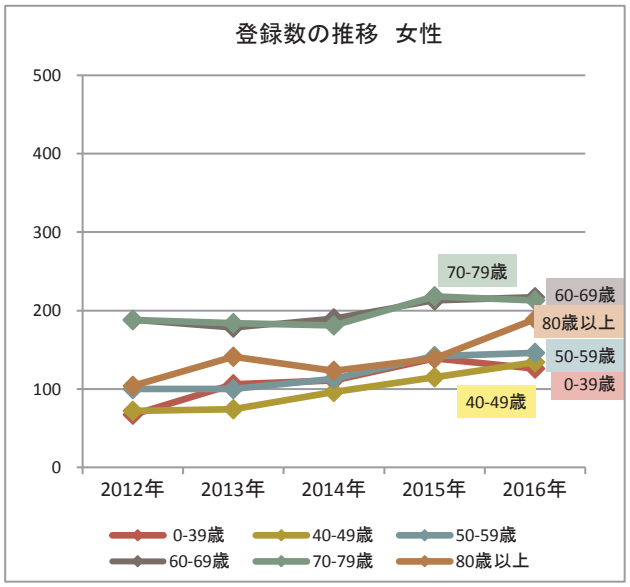


*説明ポイント④ 70代 60代がもっとも多い年代だが、若年層も全国平均より多い

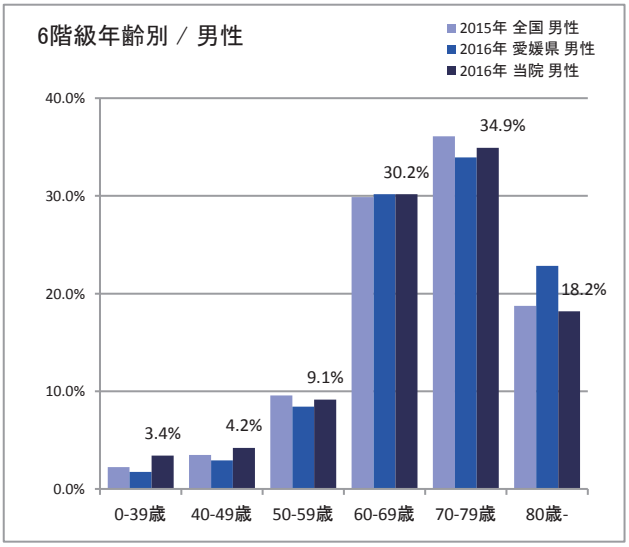
4-3. 男女別　年齢6階級別登録数の年次推移

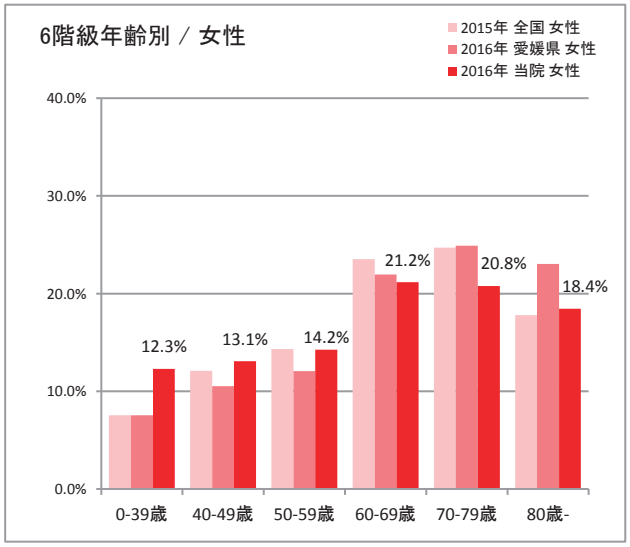
診断年	2012年		2013年		2014年		2015年		2016年	
男性	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39歳	41	(4.2%)	40	(4.1%)	40	(3.9%)	39	(3.6%)	38	(3.4%)
40-49歳	33	(3.4%)	29	(2.9%)	34	(3.4%)	41	(3.8%)	47	(4.2%)
50-59歳	119	(12.1%)	93	(9.4%)	113	(11.1%)	97	(8.9%)	102	(9.1%)
60-69歳	279	(28.3%)	296	(30.0%)	299	(29.5%)	335	(30.8%)	337	(30.2%)
70-79歳	355	(36.0%)	333	(33.8%)	348	(34.3%)	373	(34.3%)	390	(34.9%)
80歳-	158	(16.0%)	195	(19.8%)	180	(17.8%)	204	(18.7%)	203	(18.2%)
女性	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39歳	67	(9.3%)	106	(13.5%)	111	(13.6%)	139	(14.4%)	126	(12.3%)
40-49歳	72	(10.0%)	74	(9.5%)	96	(11.8%)	115	(11.9%)	134	(13.1%)
50-59歳	100	(13.9%)	100	(12.8%)	113	(13.9%)	142	(14.7%)	146	(14.2%)
60-69歳	188	(26.1%)	178	(22.7%)	190	(23.3%)	213	(22.0%)	217	(21.2%)
70-79歳	188	(26.1%)	184	(23.5%)	181	(22.2%)	218	(22.6%)	213	(20.8%)
80歳-	104	(14.5%)	141	(18.0%)	123	(15.1%)	139	(14.4%)	189	(18.4%)





4-4. 男女別　年齢6階級別登録数　愛媛県全体・全国値との比較



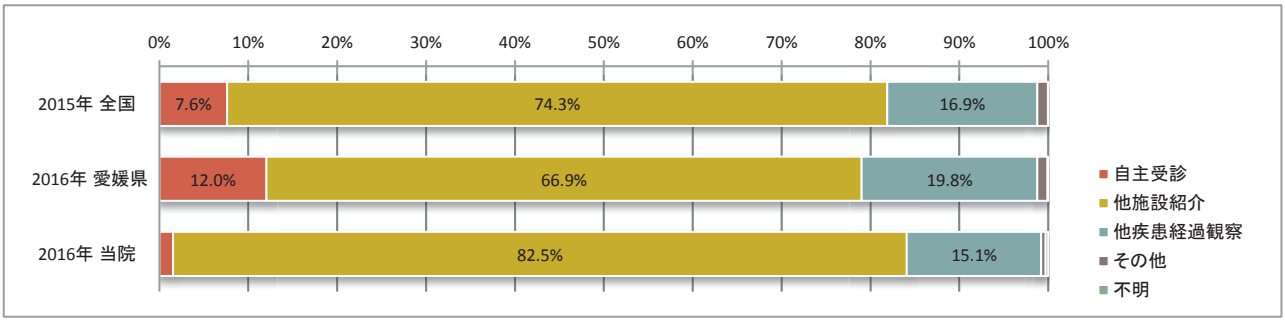


5. 来院経路

5-1. 来院経路

標準登録様式 2006年度改定版	2014年 件数	(%)	2015年 件数	(%)	標準登録様式 2016年版	2016年 件数	(%)
自主受診	26	(1.4%)	43	(2.1%)	自主受診	33	(1.5%)
他施設紹介	1,507	(82.4%)	1,690	(82.2%)	他施設紹介	1,768	(82.5%)
がん検診	16	(0.9%)	23	(1.1%)			
健康診断	1～3	--	7～9	--			
人間ドック	1～3	--	1～3	--			
他疾患経過観察	265	(14.5%)	279	(13.6%)	他疾患経過観察	324	(15.1%)
剖検	4～6	--	1～3	--	その他	11	(0.5%)
その他	4～6	--	4～6	--			
不明	0	--	0	--	不明	4～6	--

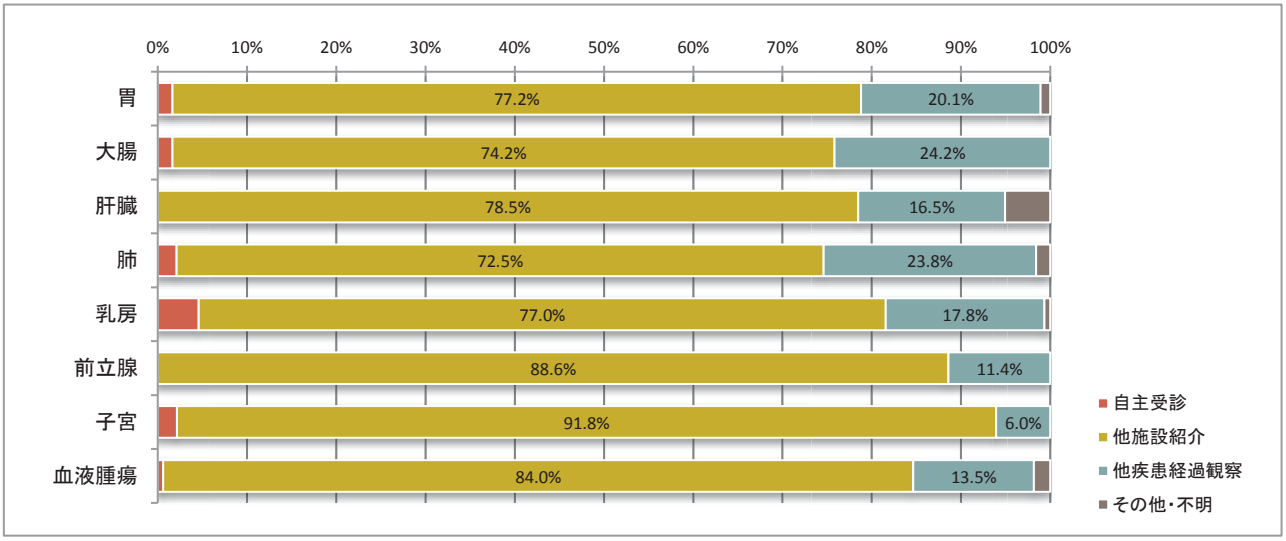
5-2. 来院経路　愛媛県全体・全国値との比較



5-3. 来院経路　部位別

	胃 件数	(%)	大腸 件数	(%)	肝臓 件数	(%)	肺 件数	(%)	乳房 件数	(%)
自主受診	1～3	--	1～3	--	0	--	4～6	--	7～9	--
他施設紹介	142	(77.2%)	135	(74.2%)	62	(78.5%)	137	(72.5%)	117	(77.0%)
他疾患経過観察	37	(20.1%)	44	(24.2%)	13	(16.5%)	45	(23.8%)	27	(17.8%)

	前立腺 件数	(%)	子宮 件数	(%)	血液腫瘍 件数	(%)
自主受診	0	--	4～6	--	1～3	--
他施設紹介	140	(88.6%)	258	(91.8%)	137	(84.0%)
他疾患経過観察	18	(11.4%)	17	(6.0%)	22	(13.5%)



*説明ポイント⑤　他医療機関からの紹介による受診が多く、自主的な受診は大変少ない。

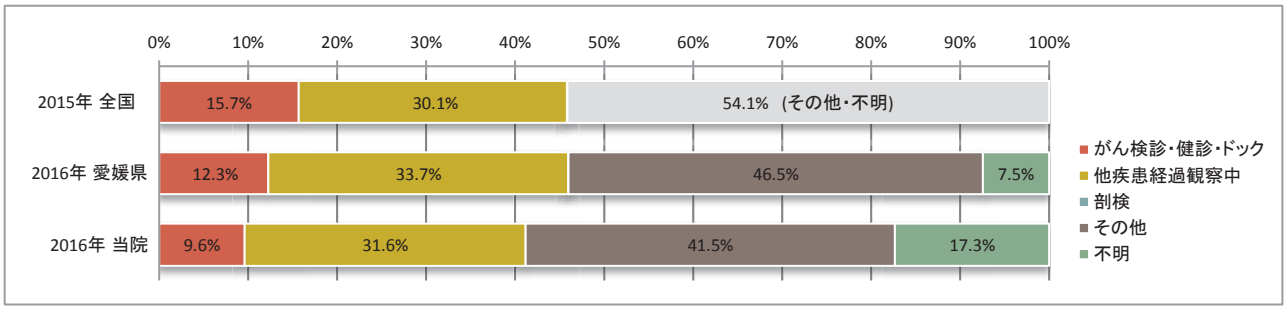
6. 発見経緯

6-1. 発見経緯

※なんらかの症状があり、病院を受診した場合は『その他』に含まれる。

標準登録様式 2006年度改定版	2014年 件数	(%)	2015年 件数	(%)	標準登録様式 2016年版	2016年 件数	(%)
がん検診	73	(4.0%)	147	(7.2%)	がん検診・健康診断・人間ドック	206	(9.6%)
健康診断・人間ドック	48	(2.6%)	56	(2.7%)			
他疾患経過観察	410	(22.4%)	529	(25.7%)	他疾患経過観察	676	(31.6%)
その他・不明	1,293	(70.7%)	1,320	(64.2%)	その他	889	(41.5%)
					不明	371	(17.3%)
剖検発見	4～6	--	1～3	--	剖検発見	0	--

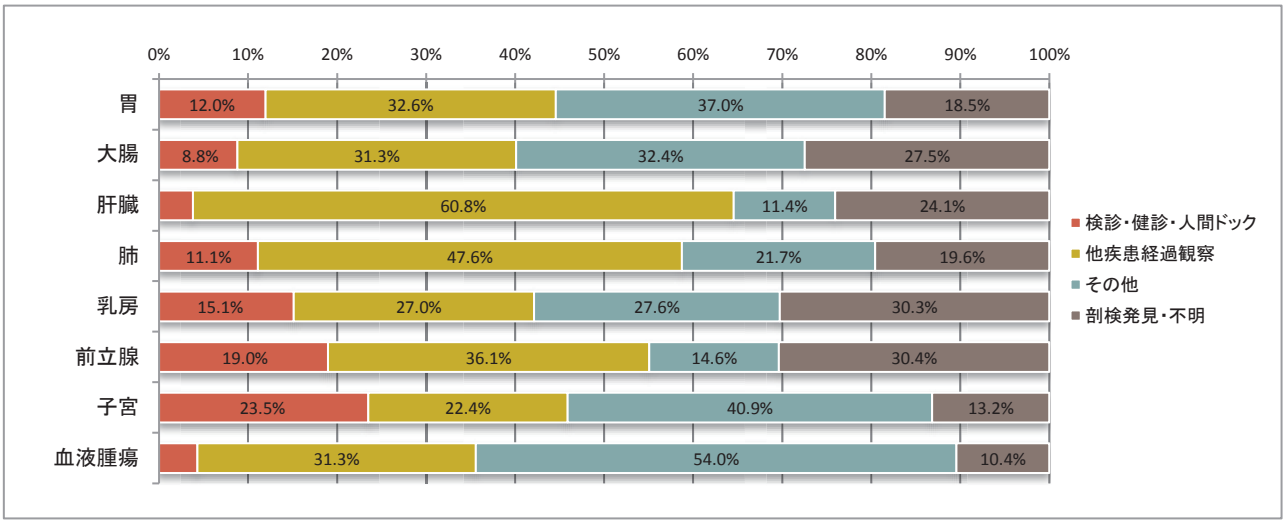
6-2. 発見経緯　愛媛県全体・全国値との比較



6-3. 発見経緯　部位別

	胃 件数	(%)	大腸 件数	(%)	肝臓 件数	(%)	肺 件数	(%)	乳房 件数	(%)
検診・健診・人間ドック	22	(12.0%)	16	(8.8%)	1～3	--	21	(11.1%)	23	(15.1%)
他疾患経過観察	60	(32.6%)	57	(31.3%)	48	(60.8%)	90	(47.6%)	41	(27.0%)
その他	68	(37.0%)	59	(32.4%)	7～9	--	41	(21.7%)	42	(27.6%)
剖検発見・不明	34	(18.5%)	50	(27.5%)	19	(24.1%)	37	(19.6%)	46	(30.3%)

	前立腺 件数	(%)	子宮 件数	(%)	血液腫瘍 件数	(%)
検診・健診・人間ドック	30	(19.0%)	66	(23.5%)	7～9	--
他疾患経過観察	57	(36.1%)	63	(22.4%)	51	(31.3%)
その他	23	(14.6%)	115	(40.9%)	88	(54.0%)
剖検発見・不明	48	(30.4%)	37	(13.2%)	17	(10.4%)



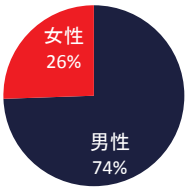
*説明ポイント⑥　健診等で発見されるがんは、前立腺、子宮癌、乳癌が多く、他疾患の受診中に見つかるがんは肝臓が多い

7-1. 部位別：胃

＊症例区分「80.その他」を除いて集計

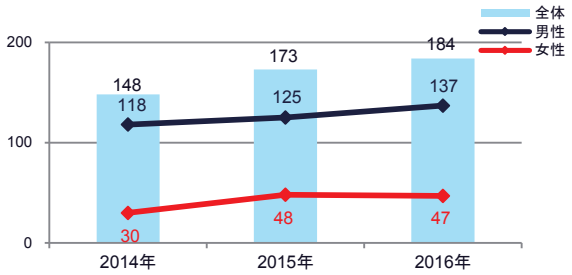
1. 登録数と男女割合

	登録数
全体	184
男性	137
女性	47

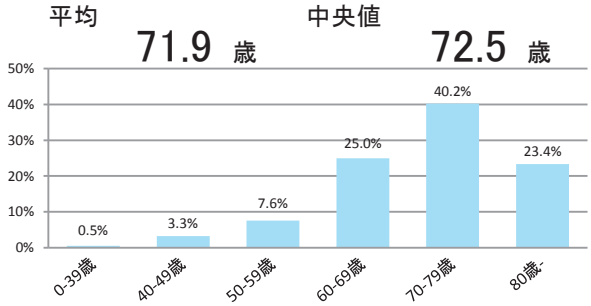


当院全登録数に占める胃がんの割合　8.6%

2. 登録数の年次推移

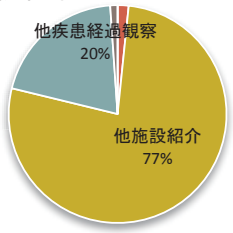


3. 年齢

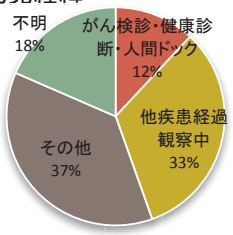


4. 来院経路と発見経緯

来院経路

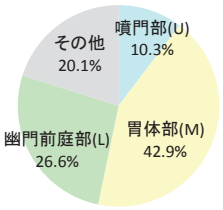


発見経緯

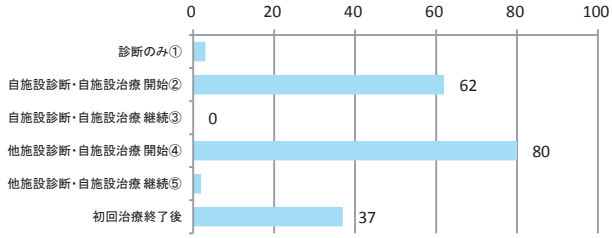


5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数	局在コード	部位名	登録数
C16.0	噴門	13	C16.5	胃小彎	1～3
C16.1	胃底部	4～6	C16.6	胃大彎	0
C16.2	胃体部	79	C16.8	胃の境界部	0
C16.3	胃前庭部	45	C16.9	胃NOS	36
C16.4	幽門	4～6			



6. 症例区分

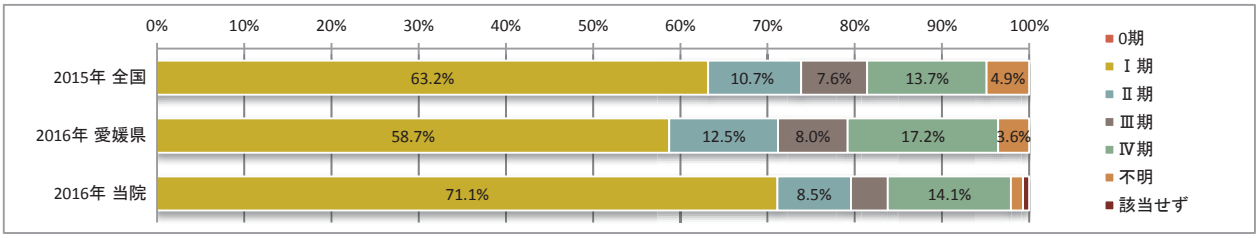


	登録数	割合
自施設責任症例（自施設で初回治療が実施された症例）②+③+④+⑤	144	78.3%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	65	35.3%

7. UICC TNM　治療前ステージ別登録　＜症例区分10～31（自施設診断および初回治療実施症例）、癌腫のみ＞

＊胃の0期は使用しないことが院内がん登録のルールで決められています。

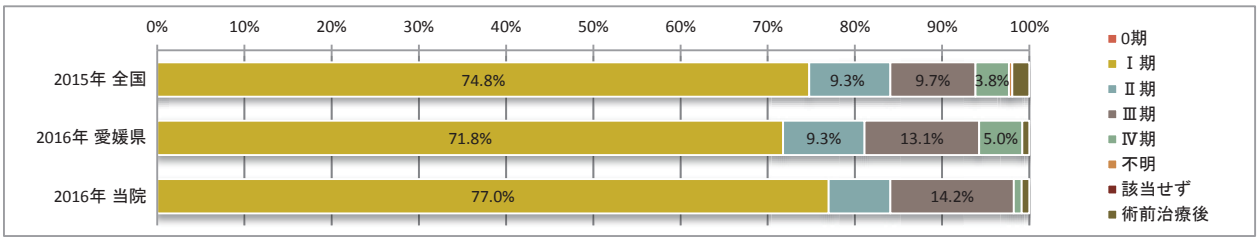
2016年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	合計
件数		101	12	4～6	20	1～3	1～3	142
割合		71.1%	8.5%	--	14.1%	--	--	



8. UICC TNM　術後病理学的ステージ別登録　＜症例区分20～31（自施設責任症例）、癌腫のみ、観血的治療実施＞

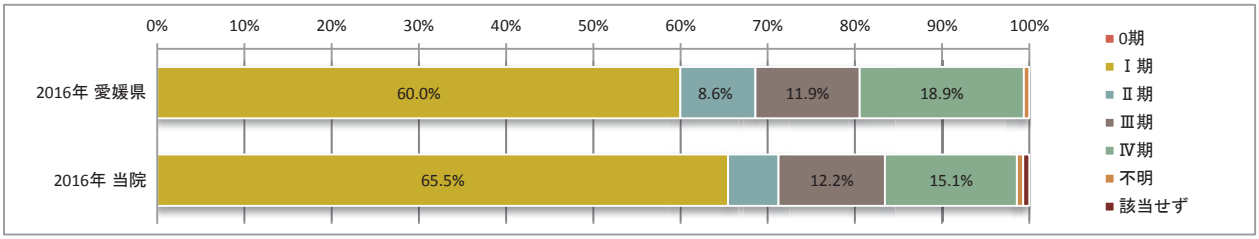
2016年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	術前治療後
件数		87	7～9	16	1～3	0	0	1～3
割合		77.0%	--	14.2%	--	--	--	--

	(他)0期	(他)Ⅰ期	(他)Ⅱ期	(他)Ⅲ期	(他)Ⅳ期	(他)不明	合計
件数		0	0	0	0	0	113
割合		--	--	--	--	--	



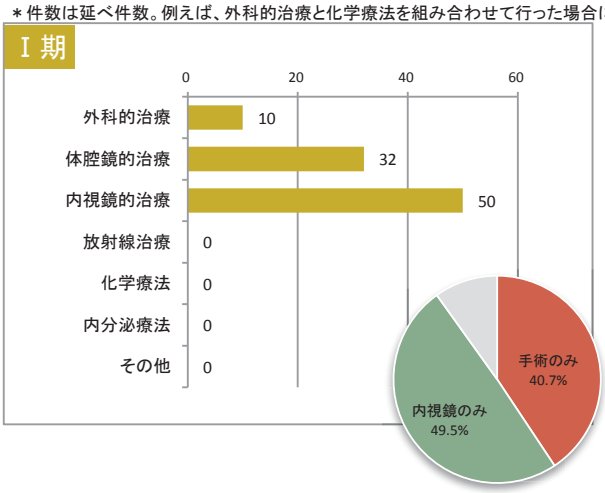
9. UICC TNM 総合ステージ ＜症例区分20～31（自施設責任症例）、癌腫のみ＞

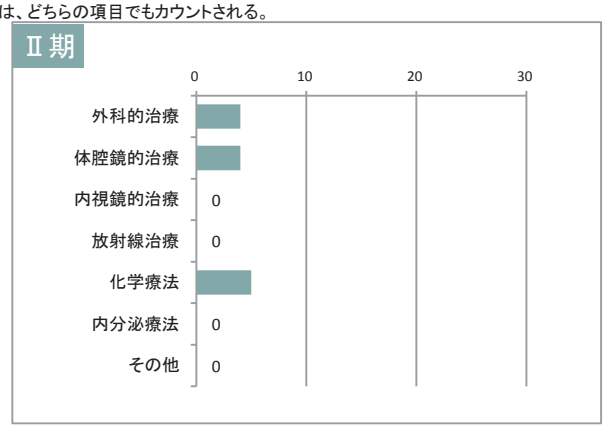
2016年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	合計
件数		91	7～9	17	21	1～3	1～3	139
割合		65.5%	--	12.2%	15.1%	--	--	

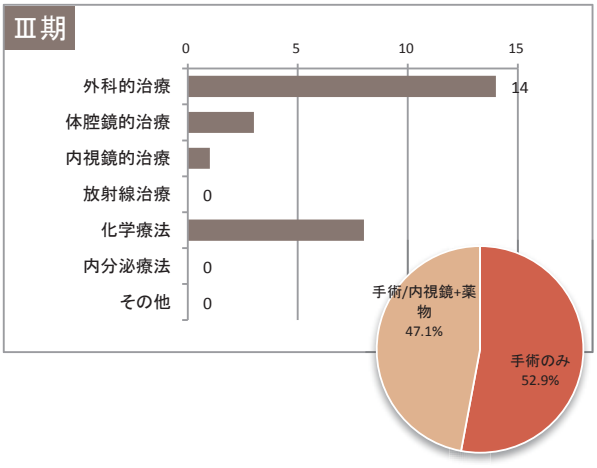


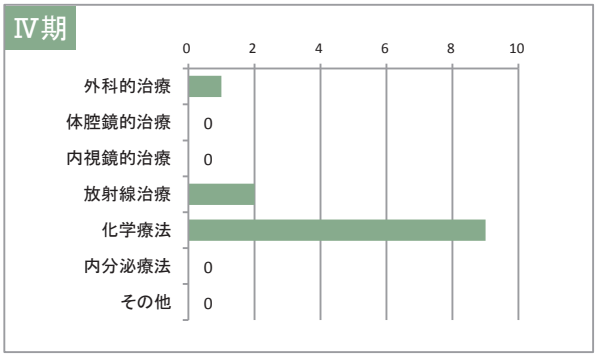
10. UICC TNM総合ステージ別 治療の件数 ＜症例区分20～31（自施設責任症例）、癌腫のみ＞

＊件数は延べ件数。例えば、外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。







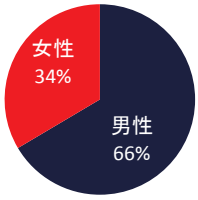


7-2. 部位別：大腸

＊症例区分「80.その他」を除いて集計

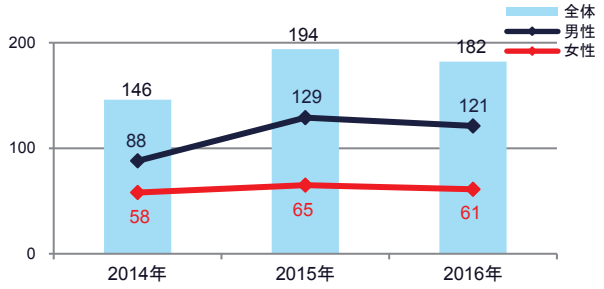
1. 登録数と男女割合

	登録数
全体	182
男性	121
女性	61

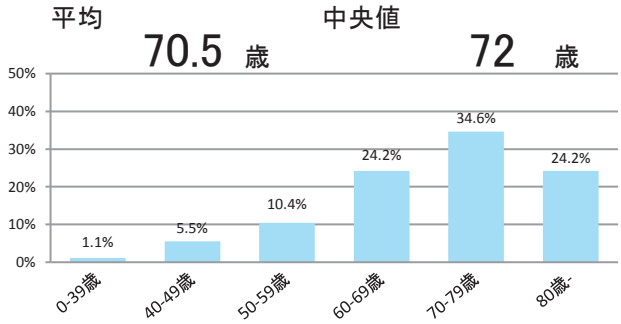


当院全登録数に占める大腸がんの割合 8.5%

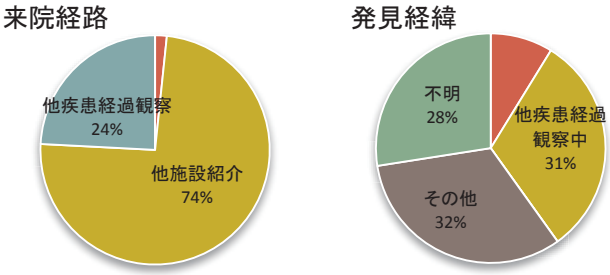
2. 登録数の年次推移



3. 年齢

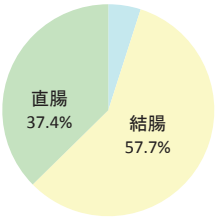


4. 来院経路と発見経緯

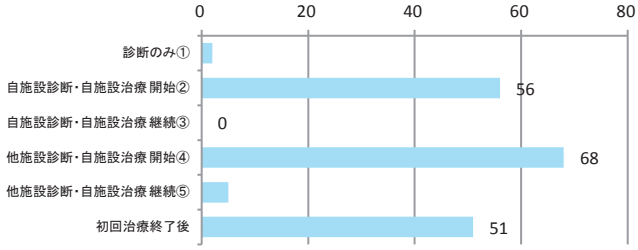


5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数	局在コード	部位名	登録数
C18.0	盲腸	7～9	C19.9	直腸S状結腸	19
C18.1	虫垂	0	C20.9	直腸	49
C18.2	上行結腸	22			
C18.3	右結腸曲	4～6			
C18.4	横行結腸	10			
C18.5	左結腸曲	1～3			
C18.6	下行結腸	4～6			
C18.7	S状結腸	44			
C18.8	境界部病巣	1～3			
C18.9	詳細部位不明	17			



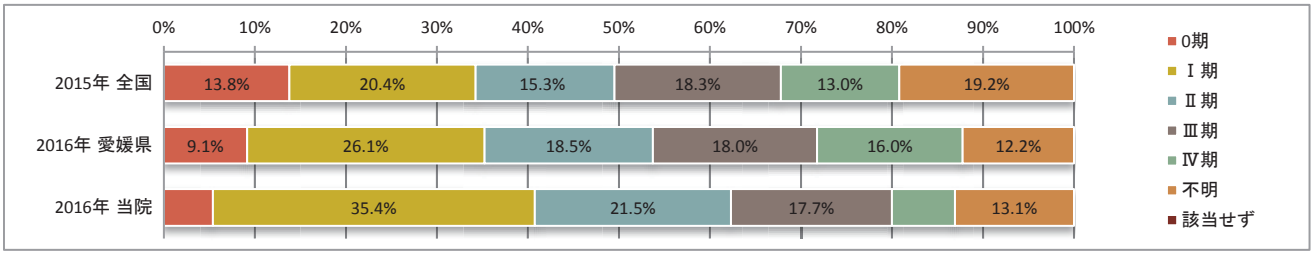
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例（自施設で初回治療が実施された症例）②+③+④+⑤	129	70.9%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	58	31.9%

7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 ＜症例区分10～31（自施設診断および初回治療実施症例）、癌腫のみ＞

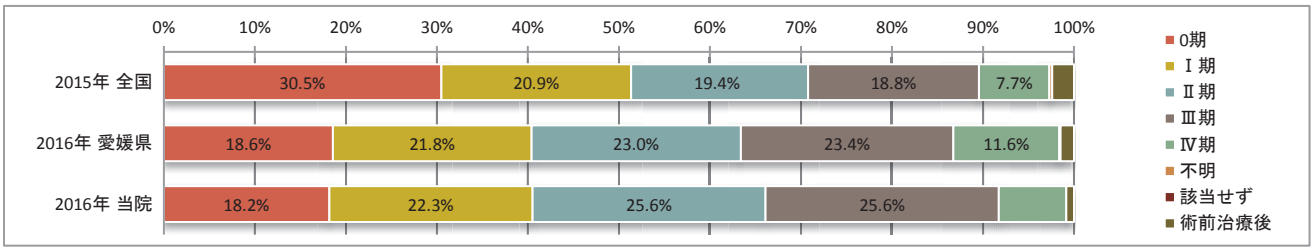
2016年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	合計
件数	7～9	46	28	23	7～9	17	0	130
割合	--	35.4%	21.5%	17.7%	--	13.1%	--	



8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 ＜症例区分20～31（自施設責任症例）、癌腫のみ、観血的治療実施＞

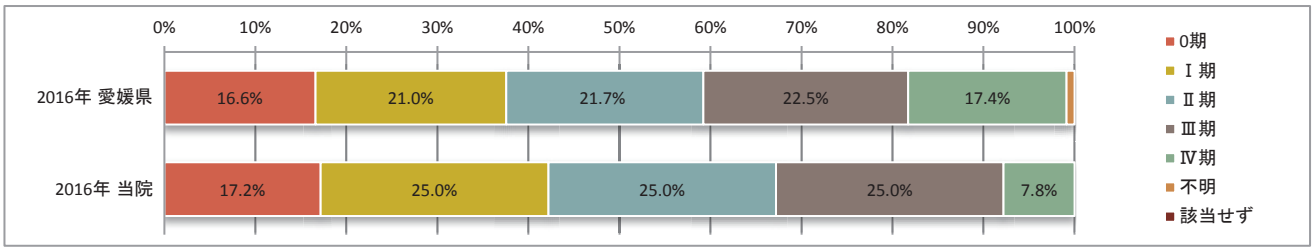
2016年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	術前治療後
件数	22	27	31	29	7～9	0	0	1～3
割合	18.2%	22.3%	25.6%	24.0%	--	--	--	--

	(他)0期	(他)Ⅰ期	(他)Ⅱ期	(他)Ⅲ期	(他)Ⅳ期	(他)不明	合計
件数	0	0	0	1～3	0	0	121
割合	--	--	--	--	--	--	



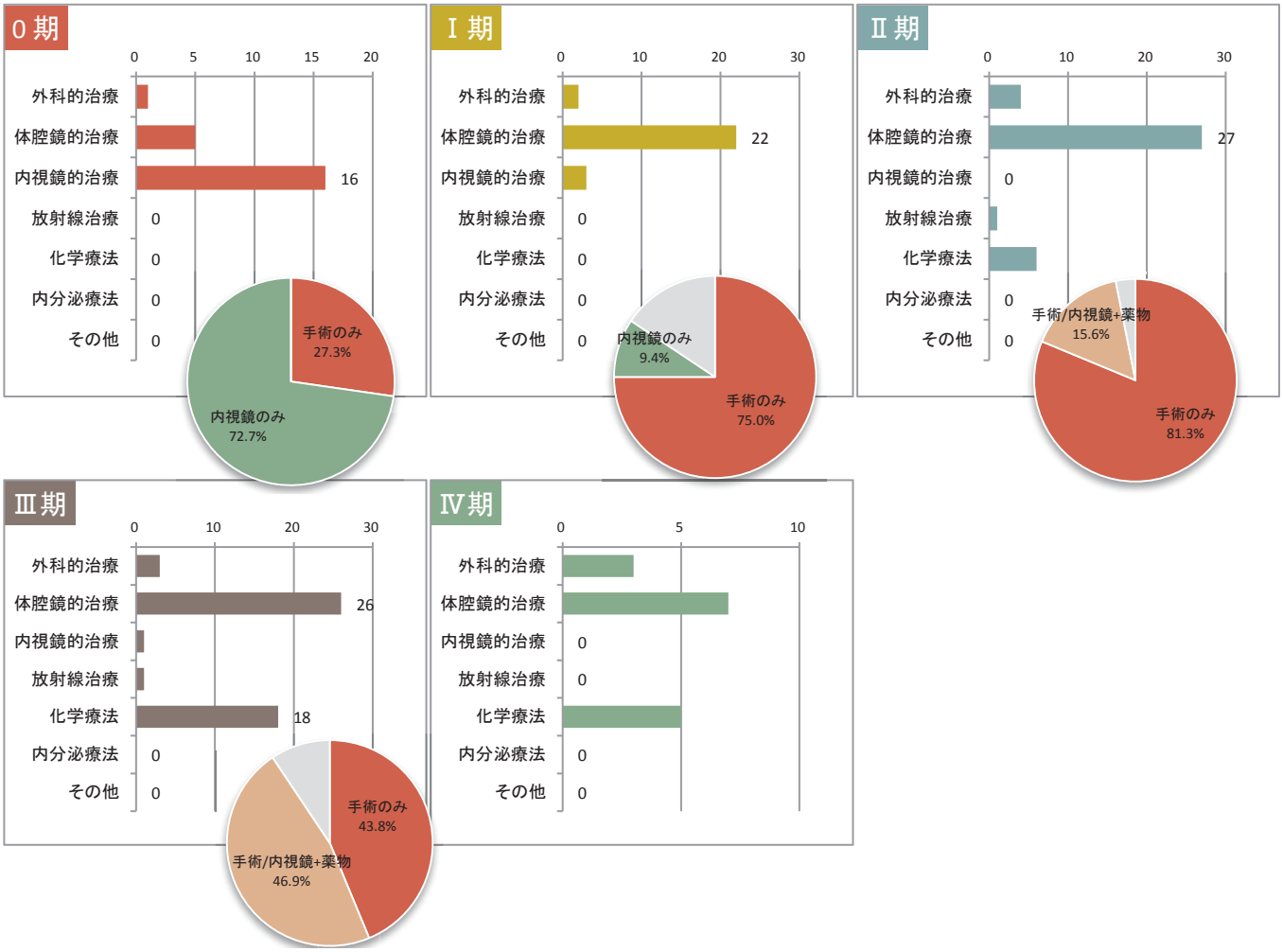
9. UICC TNM 総合ステージ ＜症例区分20～31（自施設責任症例）、癌腫のみ＞

2016年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	合計
件数	22	32	32	32	10	0	0	128
割合	17.2%	25.0%	25.0%	25.0%	7.8%	--	--	



10. UICC TNM総合ステージ別 治療の件数 ＜症例区分20～31（自施設責任症例）、癌腫のみ＞

＊件数は延べ件数。例えば、外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。

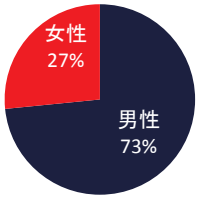


7-3. 部位別：肝臓

＊症例区分「80.その他」を除いて集計

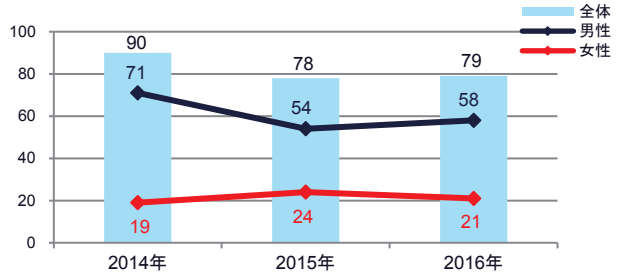
1. 登録数と男女割合

	登録数
全体	79
男性	58
女性	21



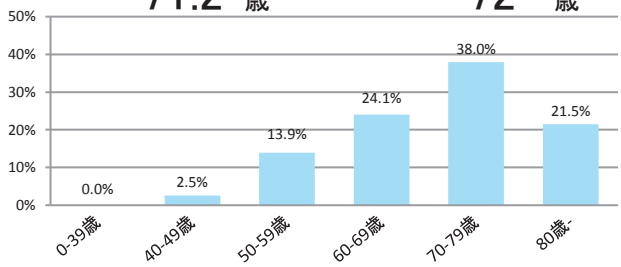
当院全登録数に占める肝臓がんの割合 3.7%

2. 登録数の年次推移



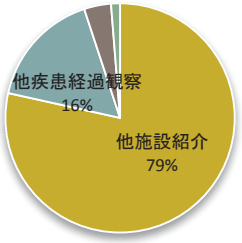
3. 年齢

平均 71.2 歳　　中央値 72 歳

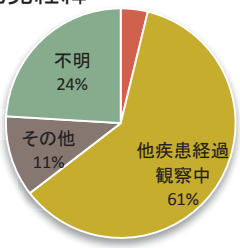


4. 来院経路と発見経緯

来院経路

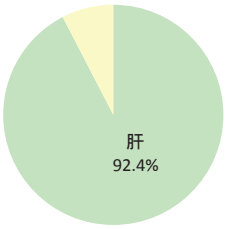


発見経緯

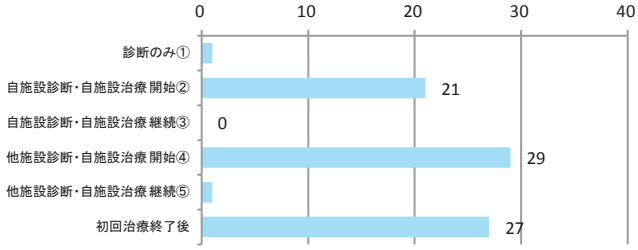


5. 詳細部位別登録数

局在コード	部 位 名	登録数
C220	肝	73
C221	肝内胆管	4～6



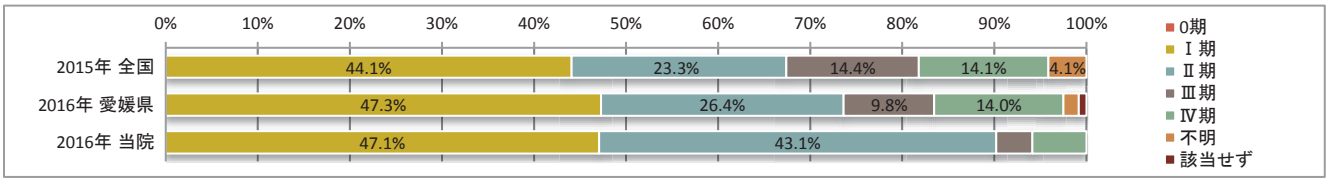
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例（自施設で初回治療が実施された症例）②+③+④+⑤	51	64.6%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	22	27.8%

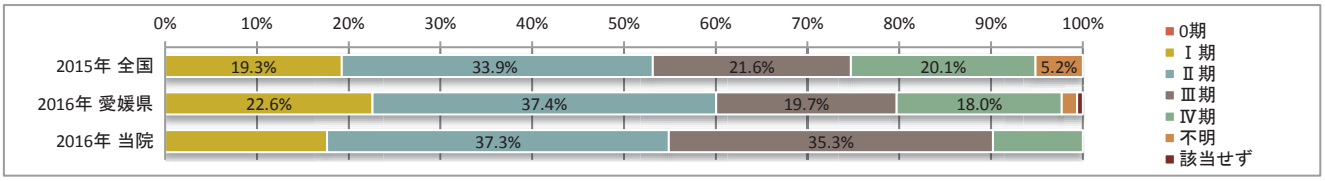
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 ＜症例区分10～31（自施設診断および初回治療実施症例）、癌腫のみ＞

2016年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	合計
件数	24	22	1～3	1～3	0	0	51
割合	47.1%	43.1%	--	--	--	--	



8. 取扱い規約分類 治療前ステージ別登録 ＜症例区分10～31（自施設診断および初回治療実施症例）、癌腫のみ＞

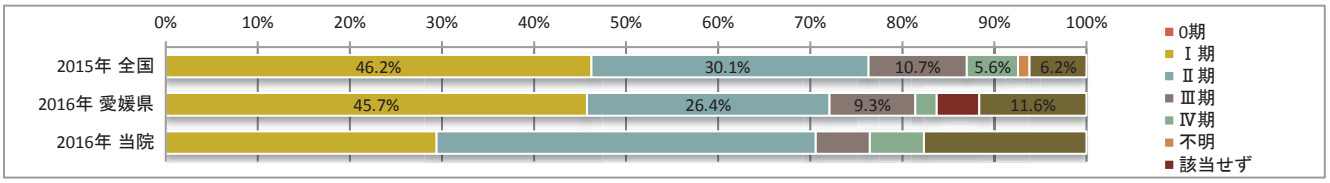
2016年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	合計
件数	7～9	19	18	4～6	0	0	51
割合	--	37.3%	35.3%	--	--	--	



9. UICC TNM　術後病理学的ステージ別登録　＜症例区分20～31（自施設責任症例）、癌腫のみ、観血的治療実施＞

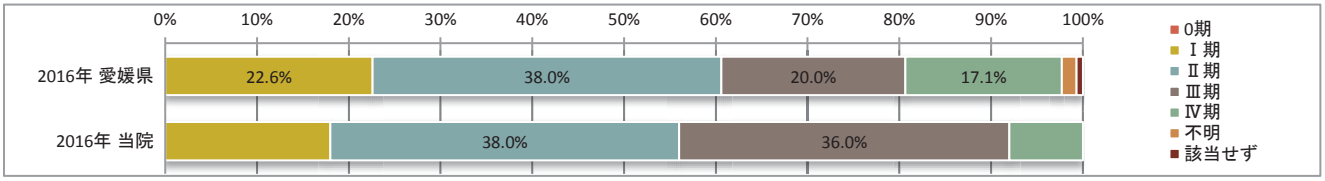
2016年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	術前治療後
件数	4～6	7～9	1～3	1～3	0	0	1～3
割合	--	--	--	--	--	--	--

	(他)Ⅰ期	(他)Ⅱ期	(他)Ⅲ期	(他)Ⅳ期	(他)不明	合計
件数	0	0	0	0	0	17
割合	--	--	--	--	--	



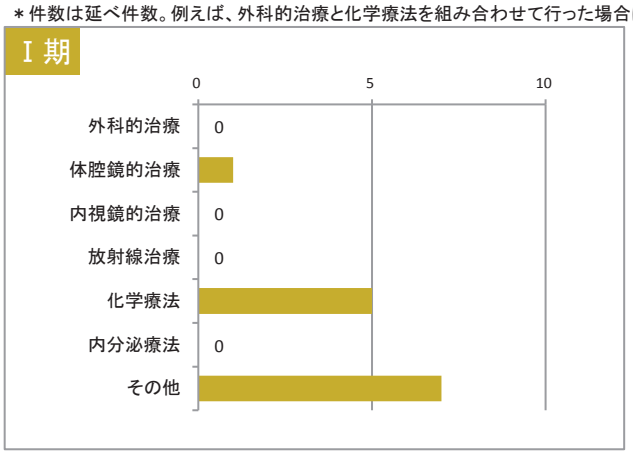
10. 取扱い規約分類　治療前ステージ　＜症例区分20～31（自施設責任症例）、癌腫のみ＞

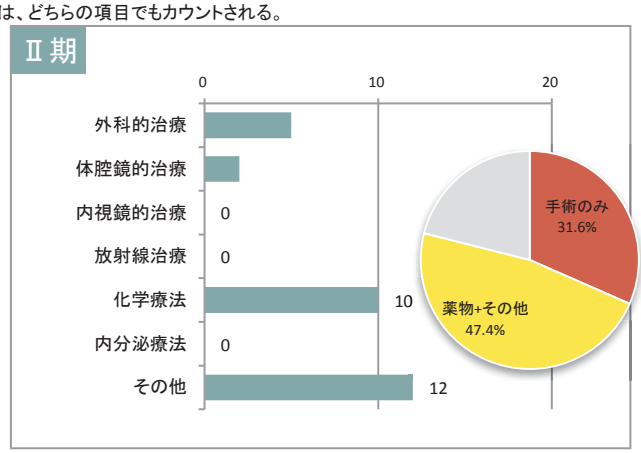
2016年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	合計
件数	7～9	19	18	4～6	0	0	50
割合	--	38.0%	36.0%	--	--	--	

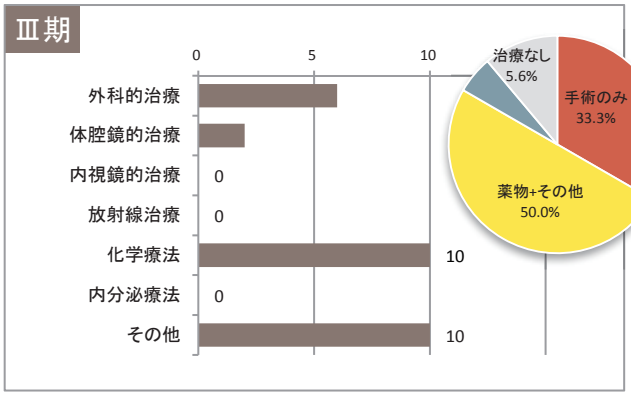


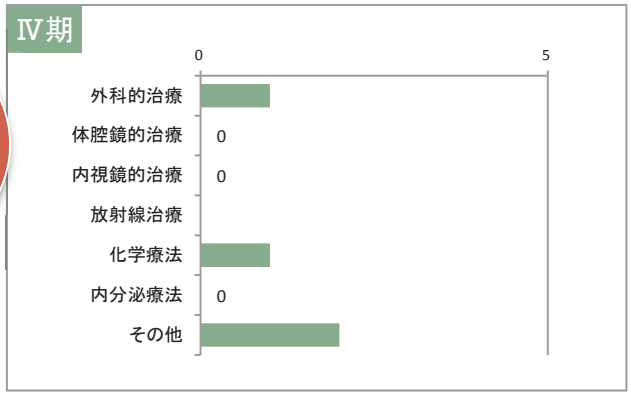
11. 取扱い規約　治療前ステージ別　治療の件数　＜症例区分20～31（自施設責任症例）、癌腫のみ＞

＊件数は延べ件数。例えば、外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。







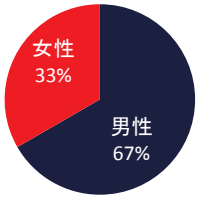


7-4. 部位別：肺

＊症例区分「80.その他」を除いて集計

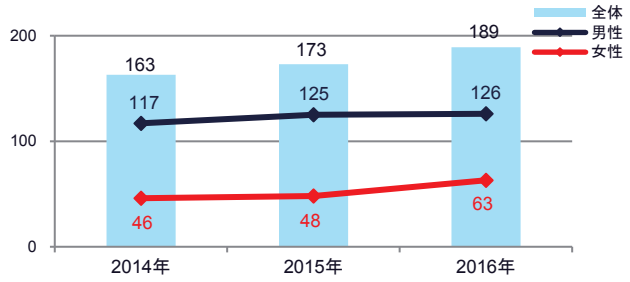
1. 登録数と男女割合

	登録数
全体	189
男性	126
女性	63



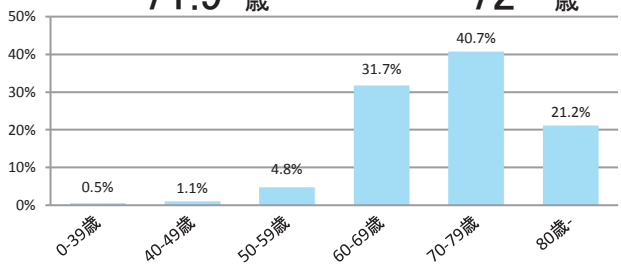
当院全登録数に占める肺がんの割合　8.8%

2. 登録数の年次推移



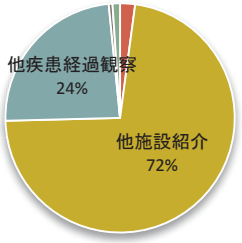
3. 年齢

平均　71.9 歳　　中央値　72 歳

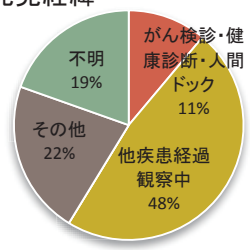


4. 来院経路と発見経緯

来院経路

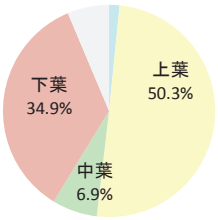


発見経緯

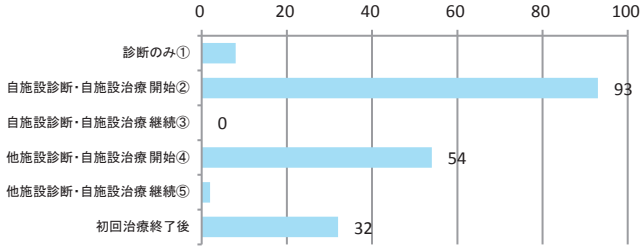


5. 詳細部位別登録数

局在コード	部 位 名	登録数
C339	気管	0
C340	主気管支	1～3
C341	上葉・肺尖部	95
C342	中葉	13
C343	下葉	66
C348	肺の境界部病巣	0
C348	肺NOS	12



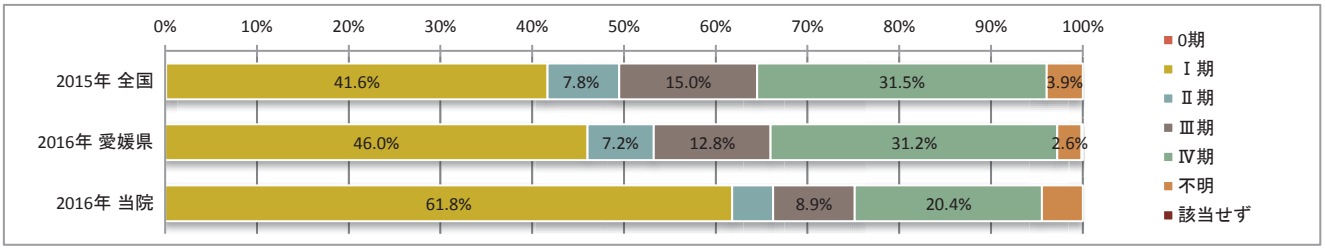
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 （自施設で初回治療が実施された症例） ②+③+④+⑤	149	78.8%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	101	53.4%

7. UICC TNM　治療前ステージ別登録　＜症例区分10～31（自施設診断および初回治療実施症例）、癌腫のみ＞

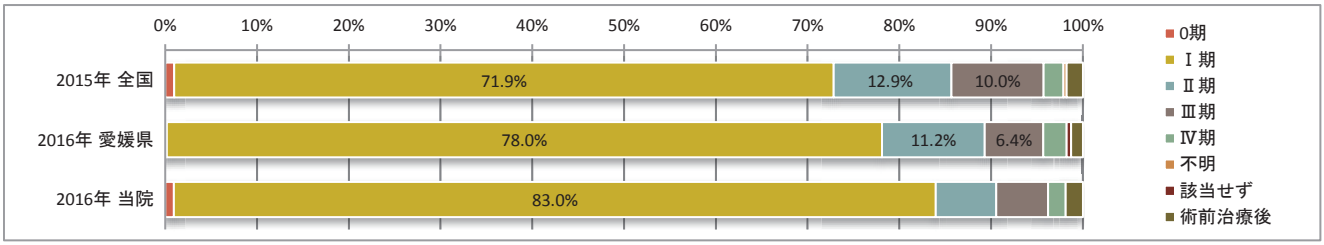
2016年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	合計
件数	0	97	7～9	14	32	7～9	0	157
割合	--	61.8%	--	8.9%	20.4%	--	--	



8. UICC TNM　術後病理学的ステージ別登録　＜症例区分20～31（自施設責任症例）、癌腫のみ、観血的治療実施＞

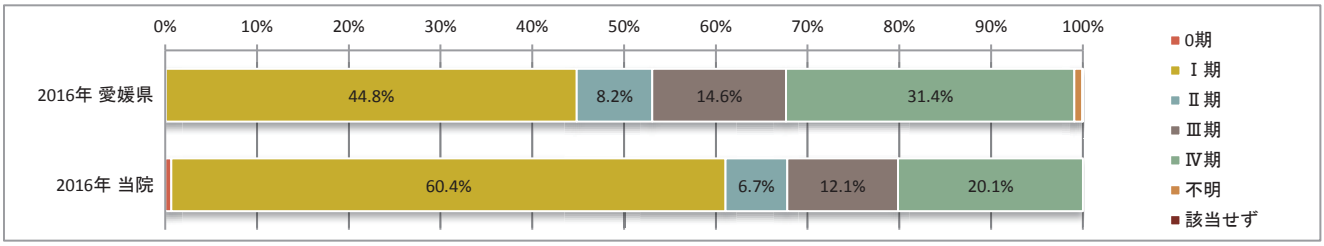
2016年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	術前治療後
件数	1～3	88	7～9	4～6	1～3	0	0	1～3
割合	--	83.0%	--	--	--	--	--	--

	(他)0期	(他)Ⅰ期	(他)Ⅱ期	(他)Ⅲ期	(他)Ⅳ期	(他)不明	合計
件数	0	0	0	0	0	0	106
割合	--	--	--	--	--	--	



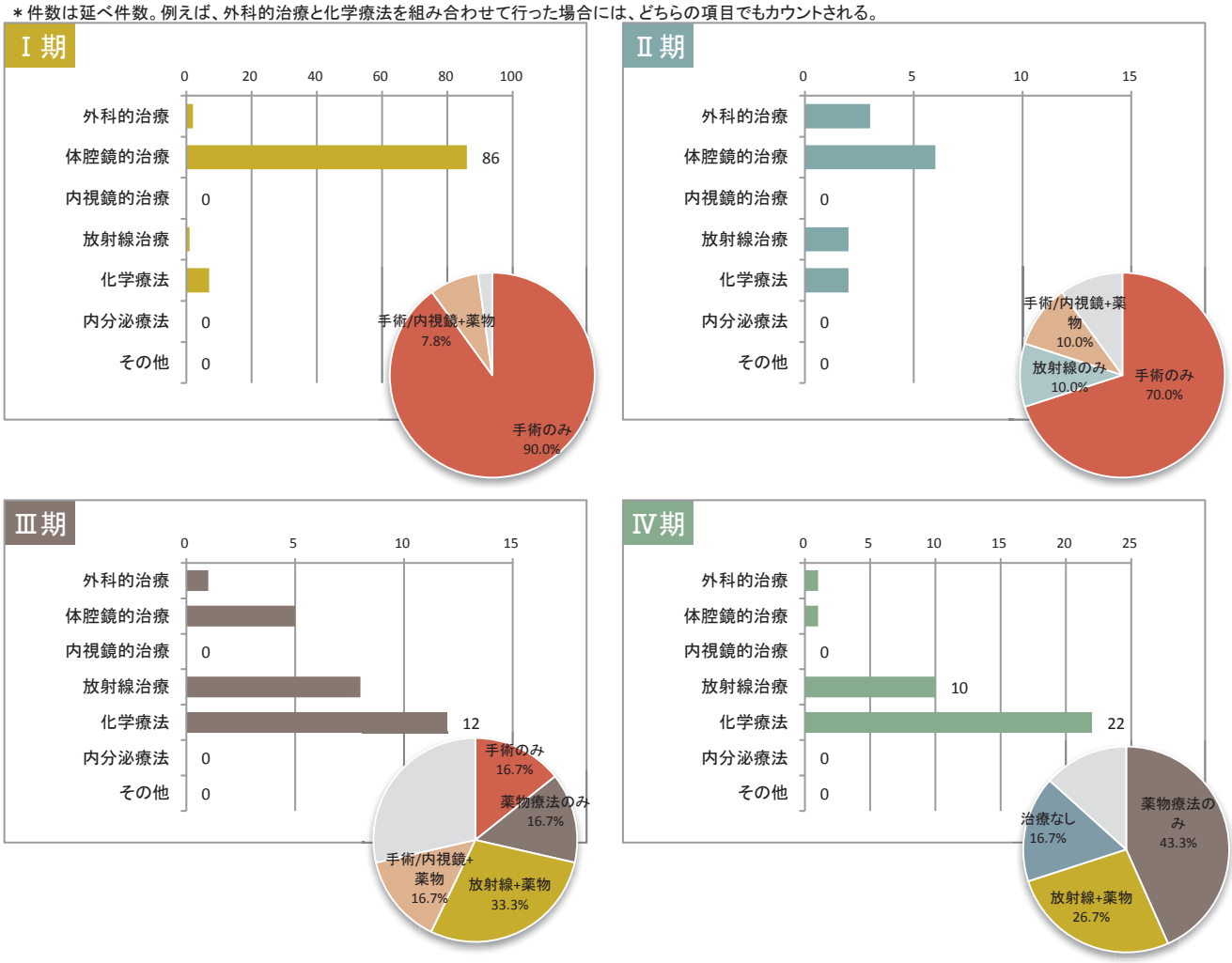
9. UICC TNM 総合ステージ ＜症例区分20～31（自施設責任症例）、癌腫のみ＞

2016年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	合計
件数	1～3	90	10	18	30	0	0	149
割合	--	60.4%	6.7%	12.1%	20.1%	--	--	



10. UICC TNM総合ステージ別 治療の件数 ＜症例区分20～31（自施設責任症例）、癌腫のみ＞

＊件数は延べ件数。例えば、外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。

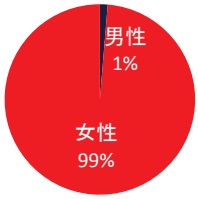


7-5. 部位別：乳房

＊症例区分「80.その他」を除いて集計

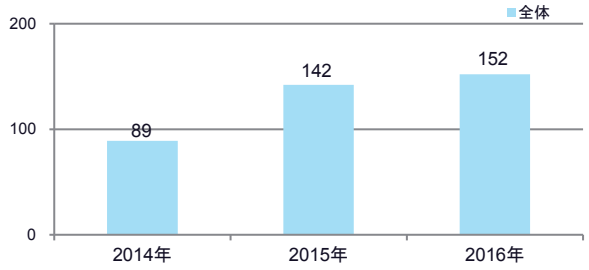
1. 登録数と男女割合

	登録数
全体	152
男性	1～3
女性	150



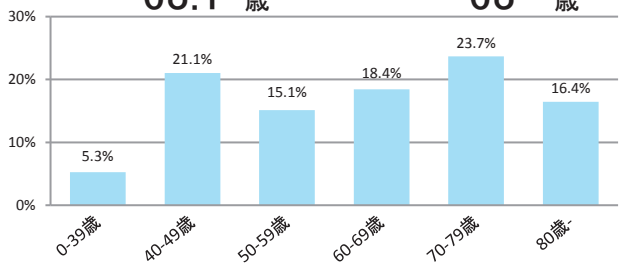
当院全登録数に占める乳がんの割合　7.1%

2. 登録数の年次推移



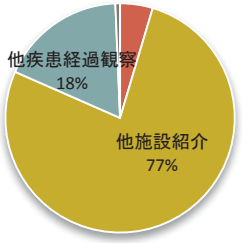
3. 年齢

平均　63.1 歳　　中央値　63 歳

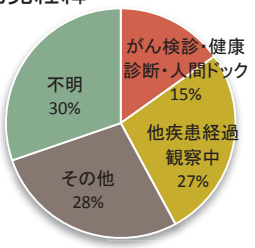


4. 来院経路と発見経緯

来院経路

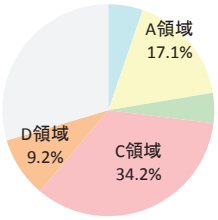


発見経緯

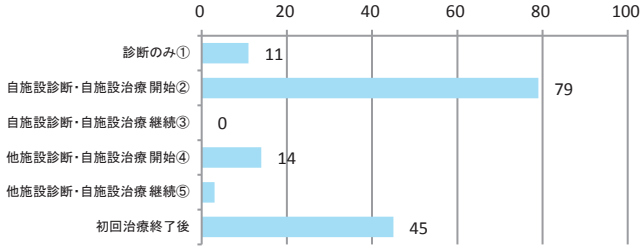


5. 詳細部位別登録数

局在コード	部 位 名	登録数
C500	E'(乳頭部)領域	1～3
C501	E(乳輪部)領域	7～9
C502	A領域	26
C503	B領域	7～9
C504	C領域	52
C505	D領域	14
C506	C' 領域	0
C508	境界部病巣	1～3
C509	乳房NOS	44



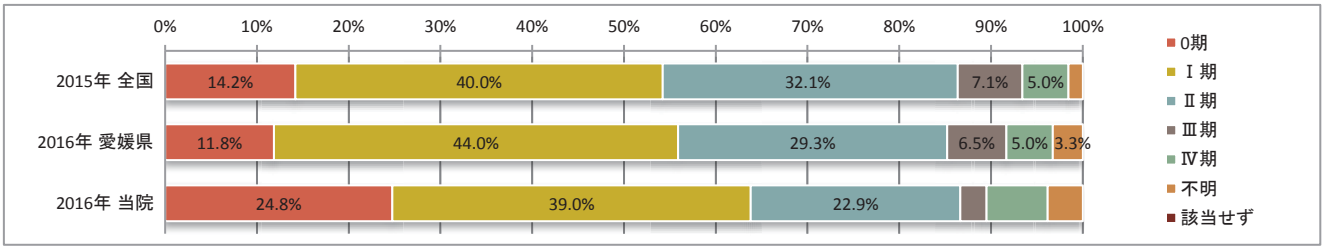
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	96	63.2%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	90	59.2%

7. UICC TNM　治療前ステージ別登録　＜症例区分10～31(自施設診断および初回治療実施症例)、癌腫のみ＞

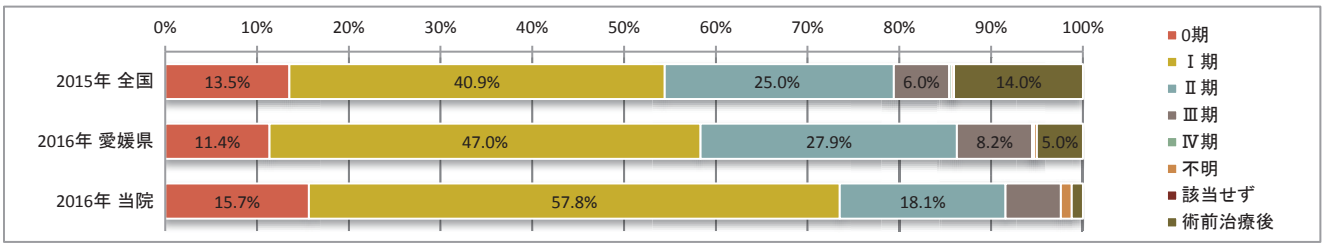
2016年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	合計
件数	26	41	24	1～3	7～9	4～6	0	105
割合	24.8%	39.0%	22.9%	--	--	--	--	



8. UICC TNM　術後病理学的ステージ別登録　＜症例区分20～31(自施設責任症例)、癌腫のみ、観血的治療実施＞

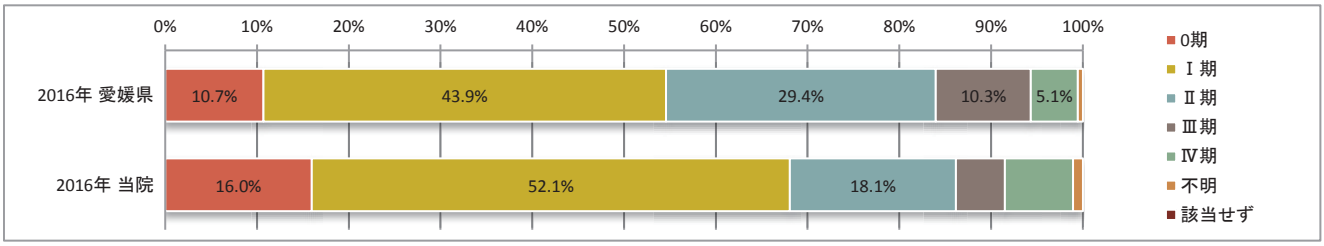
2016年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	術前治療後
件数	13	48	15	4～6	0	0	0	1～3
割合	15.7%	57.8%	18.1%	--	--	--	--	--

	(他)0期	(他)Ⅰ期	(他)Ⅱ期	(他)Ⅲ期	(他)Ⅳ期	(他)不明	合計
件数	0	0	0	1～3	0	1～3	83
割合	--	--	--	--	--	--	



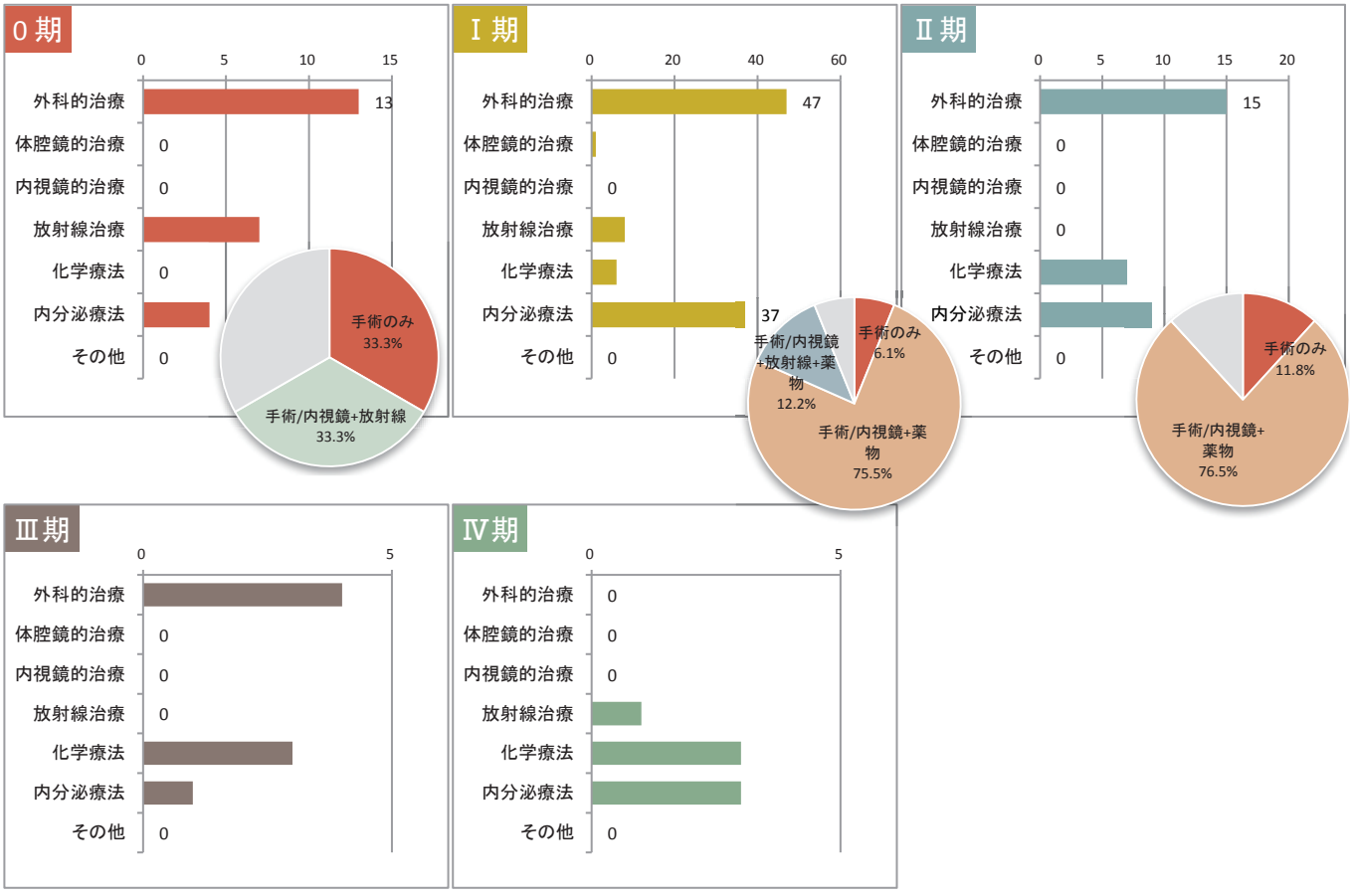
9. UICC TNM 総合ステージ ＜症例区分20～31（自施設責任症例）、癌腫のみ＞

2016年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	合計
件数	15	49	17	4～6	7～9	1～3	0	94
割合	16.0%	52.1%	18.1%	--	--	--	--	



10. UICC TNM総合ステージ別 治療の件数 ＜症例区分20～31（自施設責任症例）、癌腫のみ＞

＊件数は延べ件数。例えば、外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-6. 部位別：前立腺

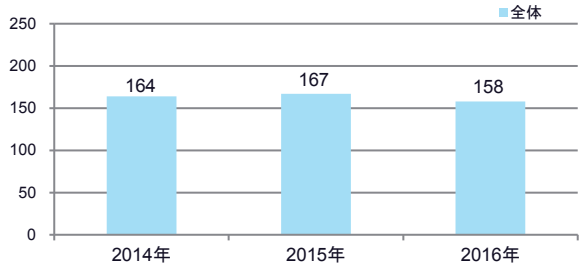
＊症例区分「80.その他」を除いて集計

1. 登録数と男女割合

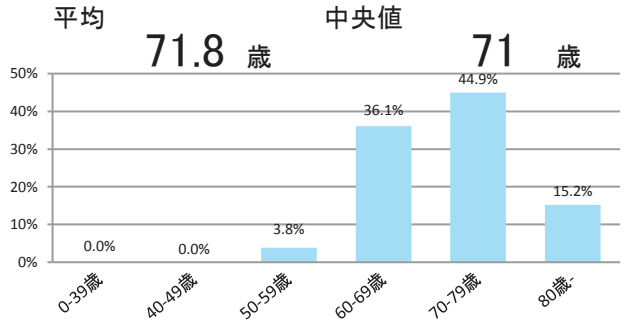
	登録数
全体	158

当院全登録数に占める前立腺がんの割合 7.4%

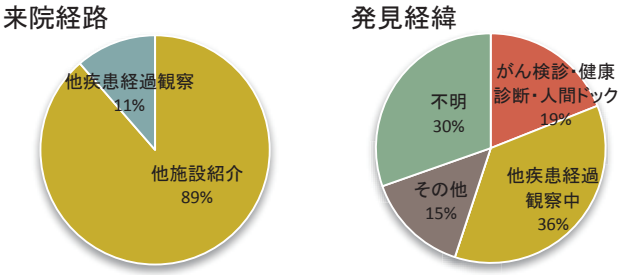
2. 登録数の年次推移



3. 年齢



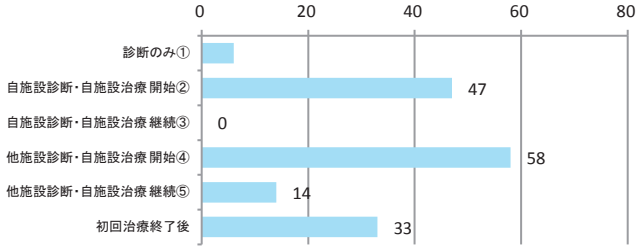
4. 来院経路と発見経緯



5. 詳細部位別登録数

局在コード	部 位 名	登録数
C61.9	前立腺	158

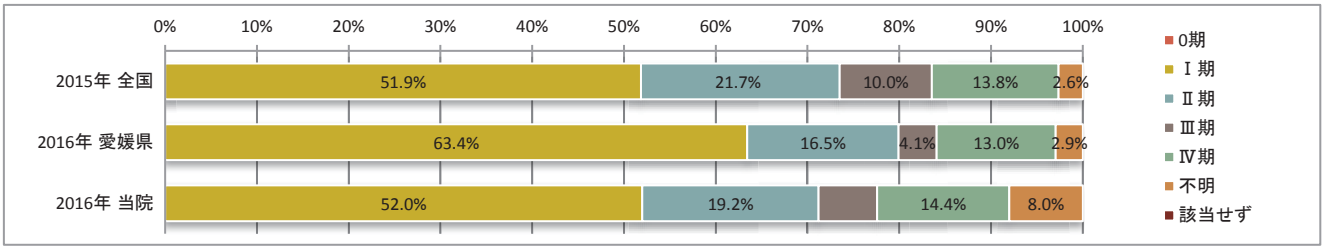
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例（自施設で初回治療が実施された症例）②+③+④+⑤	119	75.3%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	53	33.5%

7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 ＜症例区分10～31（自施設診断および初回治療実施症例）、癌腫のみ＞

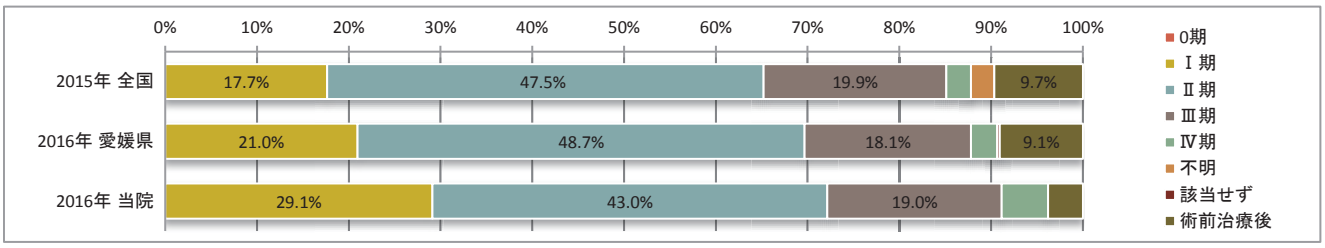
2016年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	合計
件数	65	24	7～9	18	10	0	125
割合	52.0%	19.2%	--	14.4%	8.0%	--	



8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 ＜症例区分20～31（自施設責任症例）、癌腫のみ、観血的治療実施＞

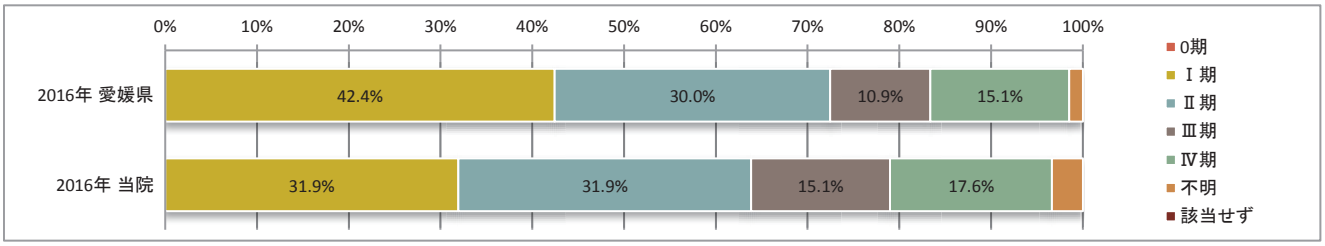
2016年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	術前治療後
件数	23	34	15	4～6	0	0	1～3
割合	29.1%	43.0%	19.0%	--	--	--	--

	(他)Ⅰ期	(他)Ⅱ期	(他)Ⅲ期	(他)Ⅳ期	(他)不明	合計
件数	0	0	0	0	0	79
割合	--	--	--	--	--	



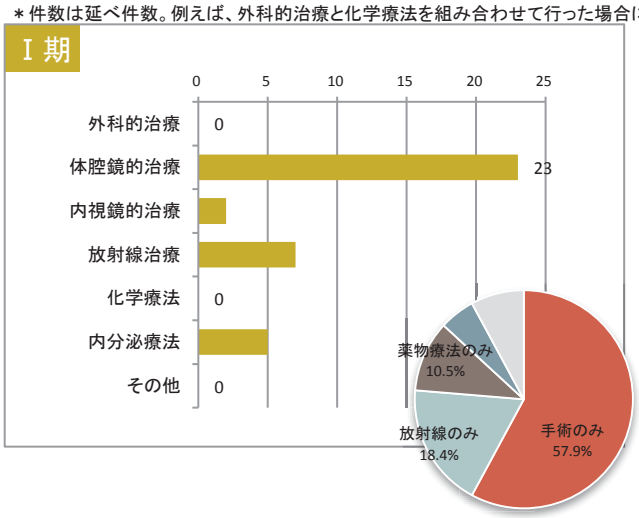
9. UICC TNM 総合ステージ ＜症例区分20～31（自施設責任症例）、癌腫のみ＞

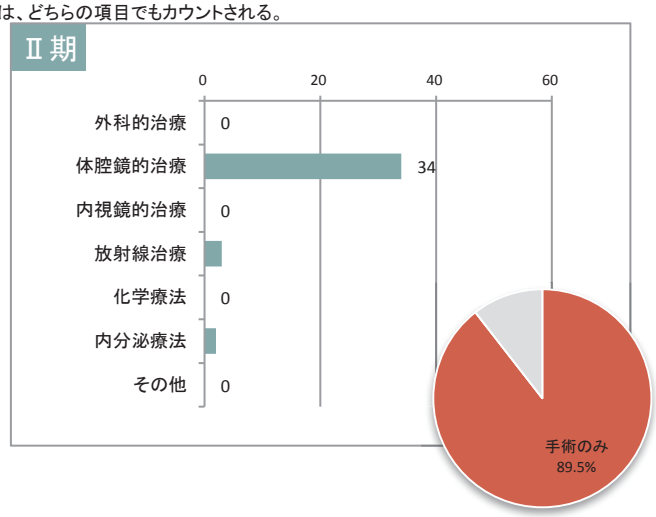
2016年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	合計
件数	38	38	18	21	4～6	0	119
割合	31.9%	31.9%	15.1%	17.6%	--	--	

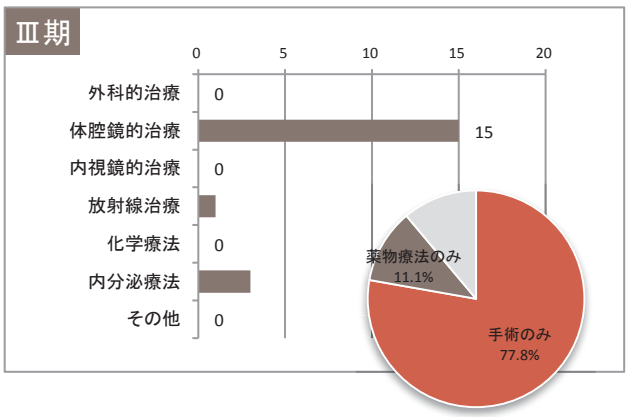


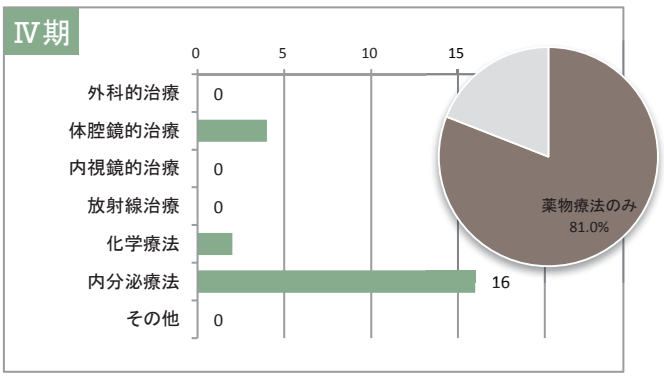
10. UICC TNM総合ステージ別 治療の件数 ＜症例区分20～31（自施設責任症例）、癌腫のみ＞

＊件数は延べ件数。例えば、外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。









7-7. 部位別：子宮

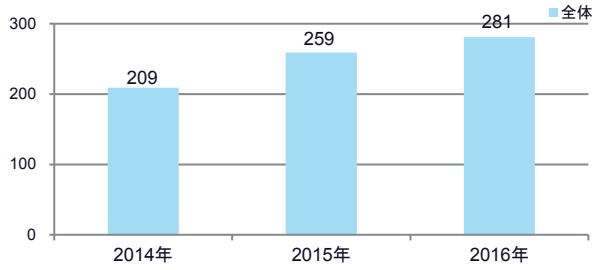
＊症例区分「80.その他」を除いて集計

1. 登録数と男女割合

	登録数
全体	281

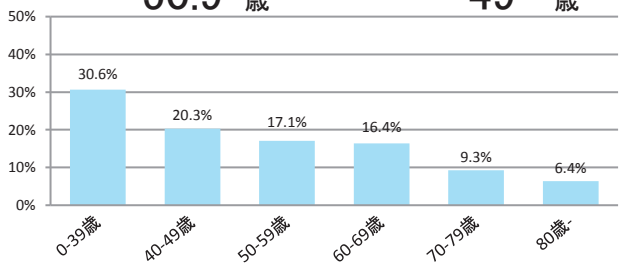
当院全登録数に占める子宮がんの割合 13.1%

2. 登録数の年次推移



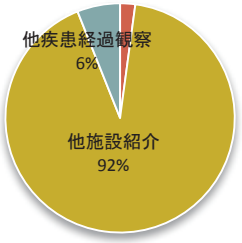
3. 年齢

平均 50.9 歳　中央値 49 歳

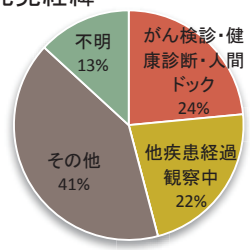


4. 来院経路と発見経緯

来院経路

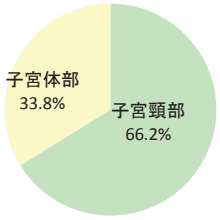


発見経緯

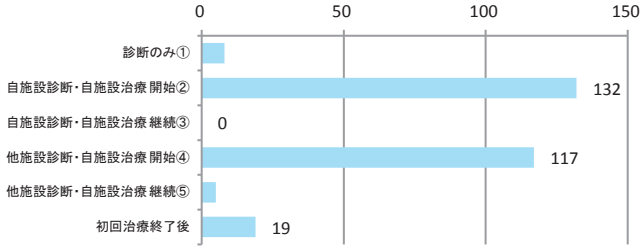


5. 詳細部位別登録数

局在コード	部 位 名	登録数
C530	内頸部	0
C531	外頸部	0
C538	頸部境界部	0
C539	頸部詳細不明	186
C540	子宮峡部	0
C541	子宮内膜	80
C542	子宮筋層	1～3
C543	子宮底部	0
C548	体部境界部	0
C549	体部詳細不明	12
C559	子宮, NOS	1～3



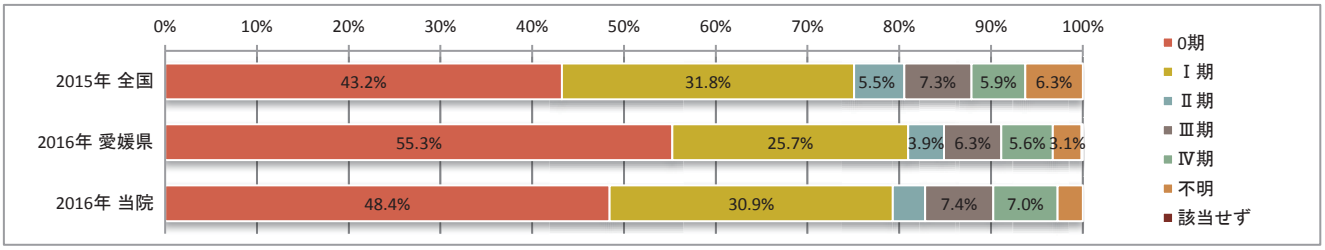
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例（自施設で初回治療が実施された症例）②+③+④+⑤	254	90.4%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	140	49.8%

7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 ＜症例区分10～31（自施設診断および初回治療実施症例）、癌腫のみ＞

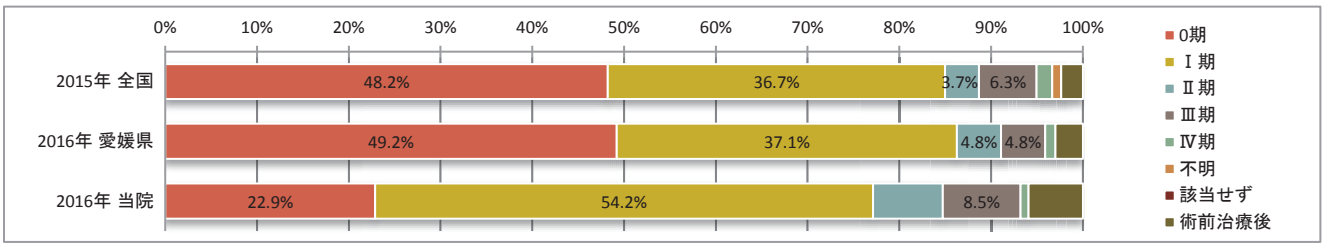
2016年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	合計
件数	124	79	7～9	19	18	7～9	0	256
割合	48.4%	30.9%	--	7.4%	7.0%	--	--	



8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 ＜症例区分20～31（自施設責任症例）、癌腫のみ、観血的治療実施＞

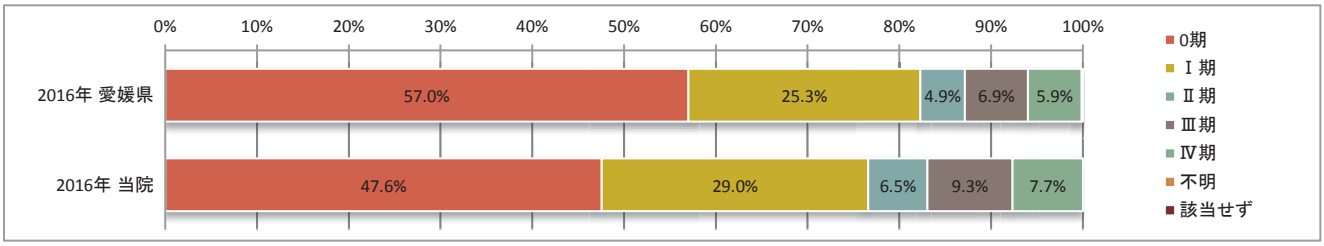
2016年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	術前治療後
件数	27	64	7～9	10	1～3	0	0	7～9
割合	22.9%	54.2%	--	8.5%	--	--	--	--

	(他)0期	(他)Ⅰ期	(他)Ⅱ期	(他)Ⅲ期	(他)Ⅳ期	(他)不明	合計
件数	0	0	1～3	0	0	0	118
割合	--	--	--	--	--	--	



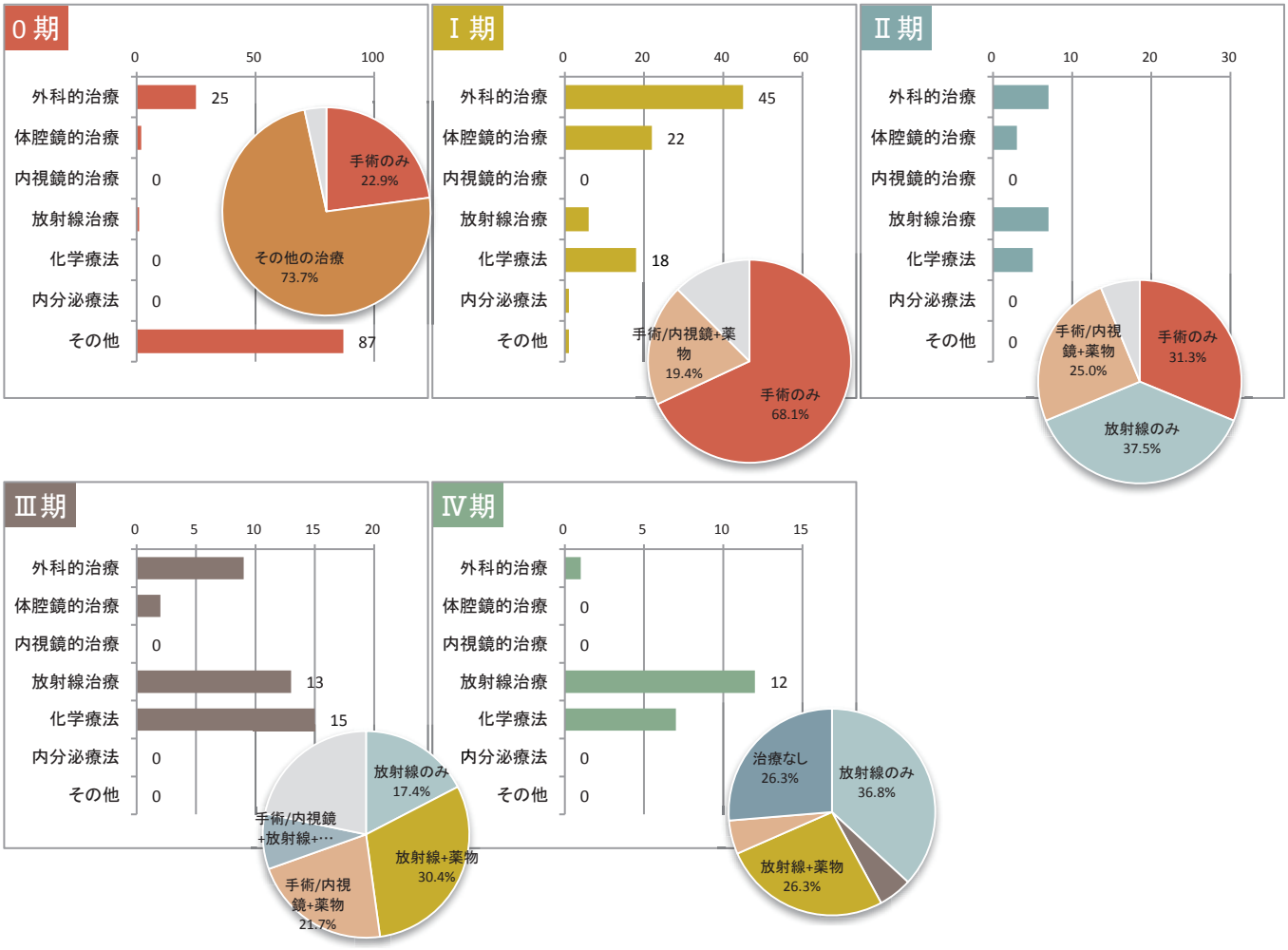
9. UICC TNM 総合ステージ ＜症例区分20～31（自施設責任症例）、癌腫のみ＞

2016年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	合計
件数	118	72	16	23	19	0	0	248
割合	47.6%	29.0%	6.5%	9.3%	7.7%	--	--	



10. UICC TNM総合ステージ別 治療の件数 ＜症例区分20～31（自施設責任症例）、癌腫のみ＞

＊件数は延べ件数。例えば、外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。

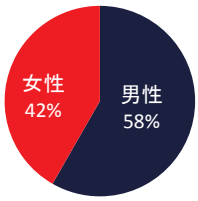


7-8. 部位別：血液腫瘍

＊症例区分「80.その他」を除いて集計

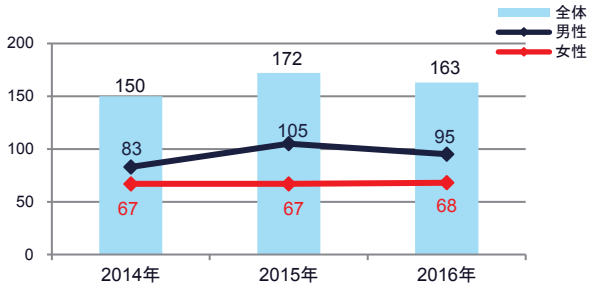
1. 登録数と男女割合

	登録数
全体	163
男性	95
女性	68



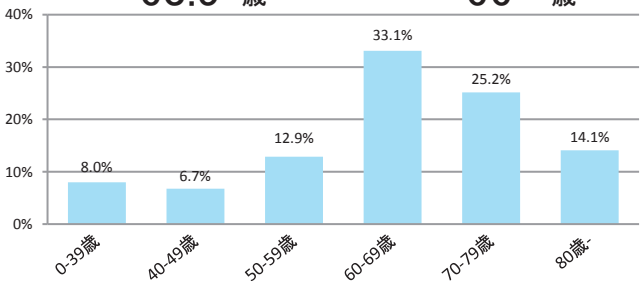
当院全登録数に占める血液腫瘍の割合　7.6%

2. 登録数の年次推移



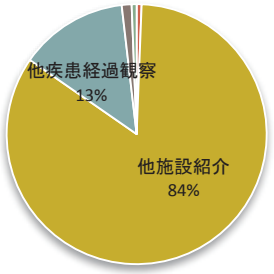
3. 年齢

平均　63.5 歳　　中央値　66 歳

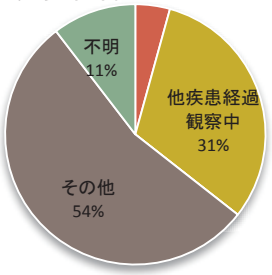


4. 来院経路と発見経緯

来院経路

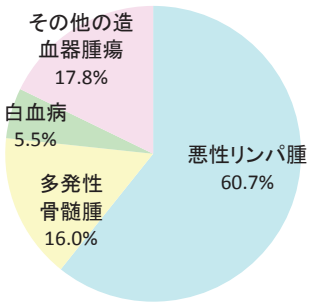


発見経緯

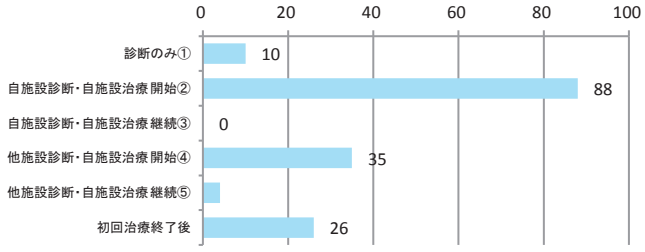


5. 詳細部位別登録数

			2014年		2015年		2016年	
			節性	節外性	節性	節外性	節性	節外性
悪性リンパ腫	成熟B細胞リンパ腫	びまん性大細胞性B細胞型リンパ腫	10	30	15	22	17	28
		濾胞性リンパ腫	4～6	1～3	10	4～6	7～9	1～3
		辺縁層B細胞性リンパ腫（MALT含む）	0	4～6	1～3	7～9	1～3	12
		成熟B細胞リンパ腫　他	1～3	4～6	4～6	1～3	1～3	1～3
	成熟T細胞及びNK細胞リンパ腫		1～3	7～9	4～6	7～9	4～6	7～9
	ホジキンリンパ腫		7～9	0	7～9	0	4～6	1～3
	他		1～3	4～6	1～3	4～6	1～3	4～6
多発性骨髄腫			11		12		7～9	
成人T細胞白血病/リンパ腫			4～6		4～6		4～6	
白血病	慢性骨髄性白血病		10		4～6		4～6	
	急性骨髄性白血病		11		17		14	
	慢性リンパ性白血病		1～3		1～3		1～3	
	急性リンパ性白血病		7～9		7～9		1～3	
	白血病　他		1～3		1～3		1～3	
その他の造血器腫瘍	骨髄異形成症候群		15		21		13	
	骨髄増殖性疾患（CML除く）		1～3		7～9		13	
	他		0		0		0	



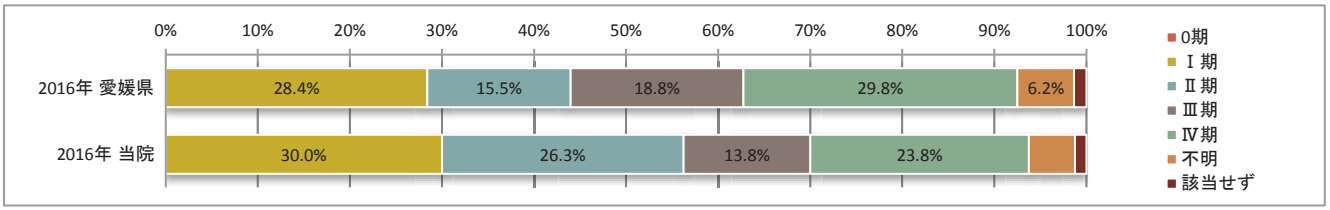
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 （自施設で初回治療が実施された症例） ②+③+④+⑤	127	77.9%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	98	60.1%

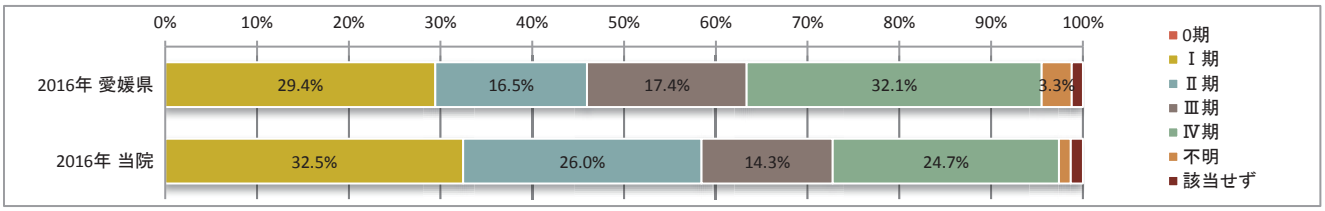
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 ＜症例区分10～31（自施設診断および初回治療実施症例）、悪性リンパ腫のみ＞

2016年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	合計
件数	0	24	21	11	19	4～6	1～3	80
割合	--	30.0%	26.3%	13.8%	23.8%	--	--	



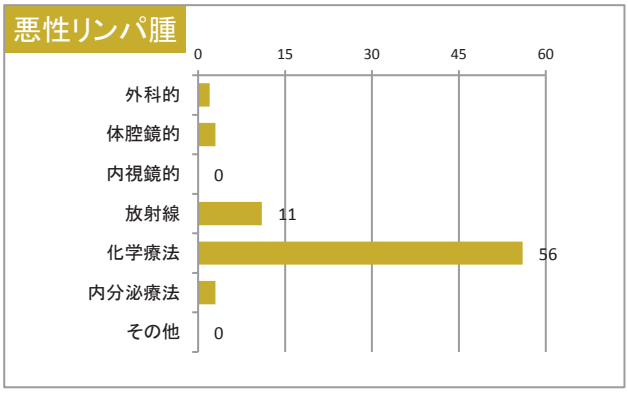
8. UICC TNM 総合ステージ ＜症例区分20～31（自施設責任症例）、悪性リンパ腫のみ＞

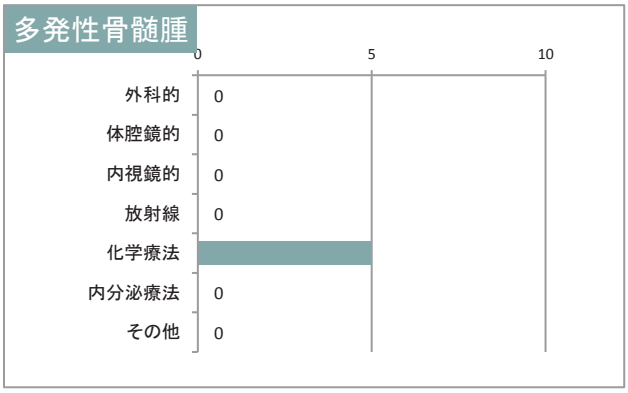
2016年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	合計
件数	0	25	20	11	19	1～3	1～3	77
割合	--	32.5%	26.0%	14.3%	24.7%	--	--	

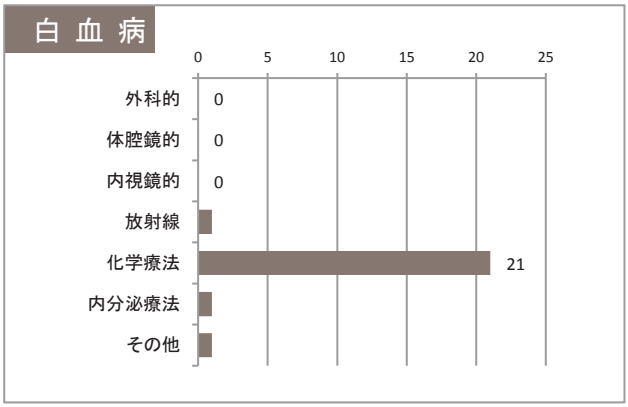


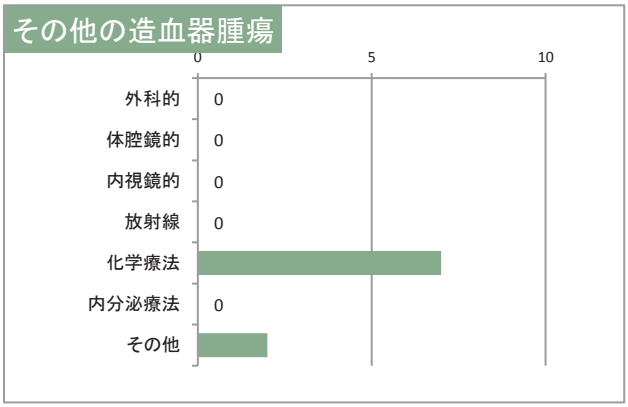
9. 治療の件数 ＜症例区分20～31（自施設責任症例）のみを集計＞

＊件数は延べ件数。例えば、外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。









説明ポイントの解説

説明ポイント①

女性の登録数が増加中である

２０１６年は、２０１５年より総登録数は４５件増加している。２０１３年以降、男女とも登録数は増加傾向であるが、増加数の２／３が女性である。男女比も女性受診患者数を反映して、かつては男性が多かったが、男女比が変わってきている。

説明ポイント②

他施設からの治療継続依頼が一定数ある

今回から、集計登録方法が変更になり、初回治療が開始されたのちに当院を受診して治療を継続した症例も把握できるようになった。他院で診断されて、当院で初回治療を開始した７６０症例に対して、他院で治療開始後に引き続き当院で治療を開始した症例は７７例も存在した。これは、前医と当院とで治療を分担して行っていることが少なくないことが示された。

説明ポイント③

松山医療圏を中心に県内各地から受診している

当院のある松山医療圏以外にも、隣接医療圏の新居浜・西条、今治、八幡浜・大洲医療圏からも多くの来院がある。

松山医療圏が４３%と最多で、新居浜・西条は２２%と続き、松山と隣接医療圏で全体の９１%が来院しており、大学病院の治療提供体制を反映して広範囲から受診が認められた。

説明ポイント④

７０代　６０代がもっとも多い年代だが、若年層も全国平均より多い

７０代（６０３件）、６０代（５５４件）の登録数が全国平均と同じ傾向で件数は多いが、平均比率より少ない傾向が当院にある。一方、症例数は多くないが、３９歳以下（１６４件）の登録比率は全国平均（４．６%）に対して当院の比率（７．７%）は大きく上回っている。

説明ポイント⑤

他医療機関からの紹介による受診が多く、自主的な受診は大変少ない

自主的な受診割合は、全国比率（７．６%）に対して当院比率（１．５%）と低い傾向になっている。大学病院のため、紹介受診を基本としているため自主受診が低くなっている。

経過観察中に発見される割合は全国平均に近いことから受診中の患者さんに対する発見率は他院と変わらない。

説明ポイント⑥

健診等で発見されるがんは、前立腺、子宮、乳房が多く、他疾患の受診中に見つかるがんは肝臓が多い

がん検診や健康診断などをきっかけに医療機関を受診した件数は、昨年とほぼ同じ状況である。がん検診や健康診断などを契機に発見された部位は乳房、前立腺、子宮が多く、他疾患経過観察中で発見されやすい臓器は、肝臓である。